

令和 7 年度 第 2 回 小金井市環境審議会

日 時：令和 7 年 7 月 1 日（火）午後 2 時から
場 所：東小金井駅開設記念会館

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 小金井市地球温暖化対策地域推進計画見直しについて
- (2) 小金井市気候市民会議（令和 7 年度第 1 回）企画概要について
- (3) 令和 6 年度環境保全実施計画について

3 報告事項

- (1) 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査について
- (2) 令和 7 年度野川環境フィールドワークについて
- (3) その他

4 次回審議会の日程について

<配布資料>

- 資料 1 小金井市地球温暖化対策地域推進計画 見直し骨子（案）
- 資料 2_1 第 1 回小金井市気候市民会議概要資料
- 2_2 第 1 回小金井市気候市民会議 ～気候変動について理解を深めよう～
- 2_3 フィールドワーク企画案
- 資料 3 令和 6 年度環境保全実施計画
- 資料 4 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査

<参考資料>

- (1) 小金井市環境基本計画中間評価等及び（仮称）小金井市気候市民会議運営スケジュール表
- (2) 小金井市環境基本計画中間評価について（令和 7 年度第 1 回環境審議会資料）
- (3) （仮称）小金井市気候市民会議の企画概要

※参考資料(1)～(3)は、令和 7 年度第 1 回環境審議会配布資料と同一内容

令和 7 年 7 月 1 日

小金井市地球温暖化対策地域推進計画 見直し骨子（案）

第 1 章 計画策定の背景、計画の基本的事項

1. 地球温暖化による影響【最新情報に更新予定】

(1) 小金井市の気候変化

- 1978 年～2024 年の年平均気温・真夏日経年変化

(2) 小金井市における気候変動の影響の予測

- 最新のシナリオに基づく将来予測（年平均気温・年間降水量・熱中症搬送者数・熱ストレス超過死亡者数）

● : 現行計画から更新

・ : 現行計画と同様

2. 地球温暖化対策に関する動向【最新情報に更新予定】

(1) 国際社会の動向

- パリ協定と COP26 の他、最新の COP29 等
- IPCC 第 6 次評価報告書

(2) 国内の動向

- 国の 2050 年カーボンニュートラル宣言
- 法改正や国の「地球温暖化対策計画」の改定（削減目標の見直し）

(3) 東京都の動向

- 東京都の「2030 年カーボンハーフに向けた取組の加速-Fast forward to “Carbon Half”」

(4) 小金井市の取組

- 1990～2022 年度のエネルギー消費量・CO₂ 排出量削減状況等
- 気候市民会議

3. 計画の基本的事項【現行計画と同様】

(1) 計画の目的

- ・「緩和策」及び「適応策」を総合的に推進

(2) 計画の位置づけ

- ・「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 21 条第 3 項に基づく地方公共団体実行計画
- ・「気候変動適応法」第 12 条に基づく地域気候変動適応計画

(3) 対象とする地域、主体

- ・対象地域は市全域
- ・主体は市民、事業者、教育研究機関、市

(4) 対象とする温室効果ガス

- ・二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)

(5) 計画期間と目標年度

- ・2021 年度～2030 年度の 10 年間

第2章 小金井市の地域特性及び温室効果ガス排出量の現状

1. 市の地域特性

(1) 人口及び世帯数【最新情報に更新予定】

- 2000 年～2024 年の人口・世帯数の推移

(2) 土地利用【最新情報に更新予定】

- 2010 年～2024 年の土地利用割合の推移

(3) 産業構造【最新情報に更新予定】

- 2009 年～2021 年の事業所・従業員の業種構成の変化

(4) 緑化・まちづくり【現行計画と同様】

- 緑化・まちづくりの特徴、地域区分

(5) 再生可能エネルギー【最新情報に更新予定】

- 2015 年度～2024 年度の再生可能エネルギー導入状況の推移

2. 温室効果ガス排出量の現状【最新情報に更新予定】

(1) 温室効果ガス排出量のガス種別内訳

- 2022 年度の温室効果ガス排出量

(2) 温室効果ガス排出量の経年変化

- 2013 年度～2022 年度の温室効果ガス排出量の推移

(3) 二酸化炭素排出量

- 2022 年度の二酸化炭素排出量
- 2013 年度～2022 年度の二酸化炭素排出量の推移
- 2013 年度～2022 年度の部門別二酸化炭素排出量の推移

(4) その他 6 ガスの発生源別内訳

- 2022 年度のおその他 6 ガス排出量
- 2013 年度～2022 年度のおその他 6 ガス排出量の推移

第3章 温室効果ガス排出量の将来推計及び削減目標【最新情報に更新予定】

1. 温室効果ガス排出量の将来推計

(1) 現状維持ケース

- 2022 年度を直近年とした場合の 2030 年度・2035 年度・2040 年度・2050 年の将来推計

(2) 削減見込量の推計

- 2023 年度以降の国と連携した各種対策による削減見込量
- 電気の CO₂ 排出係数の低減による削減見込量
- 再生可能エネルギーの導入による削減見込量

(3) 温室効果ガス排出量の将来推計結果

- 2022 年度を直近年とした場合の 2030 年度・2035 年度・2040 年度・2050 年の将来推計

2. 各種目標

(1) 温室効果ガス排出量の削減目標

- 2030 年度の削減目標【▲46%】
- 2035 年度・2040 年度の削減目標
- 2050 年の削減目標【実質排出量ゼロ】

(2) エネルギー消費量の削減目標

- 2030 年度の削減目標【推計結果に応じた削減率】

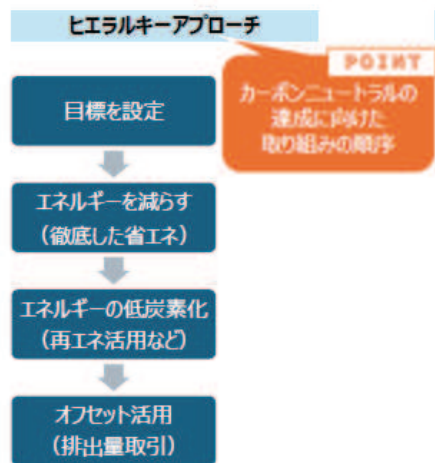
(3) 再生可能エネルギーの導入目標【新規】

- 2030 年度の導入目標
- 2050 年に向けた再生可能エネルギー設備または再エネ電力導入の方向性

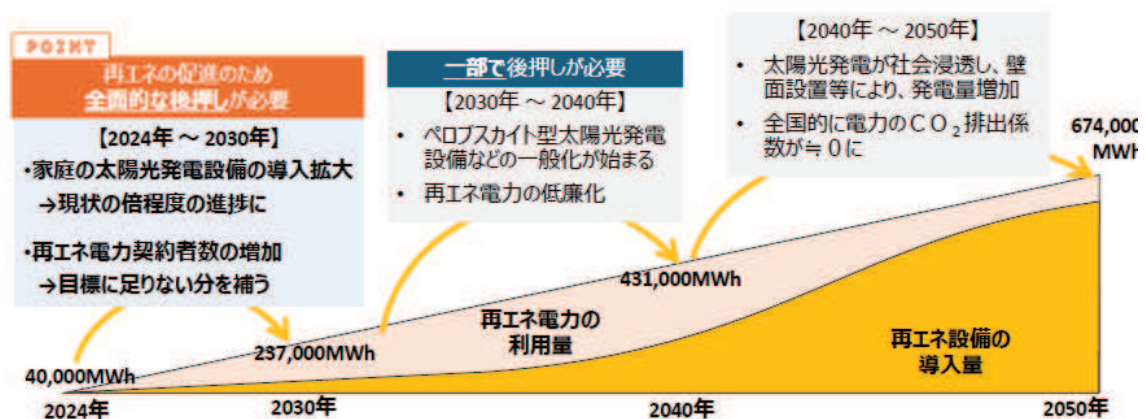
目標に向けた方向性を示す

イメージ(参考例:日野市 気候変動対策施策ロードマップより)

◆ 脱炭素化の手順



◆ 再エネ設備の導入・再エネ電源の活用に向けた方向性



第4章 地球温暖化に対する緩和策及びロードマップ【気候市民会議等を踏まえ更新予定】

1. 家庭における低炭素化の推進

(1) 現状と課題

- アンケート調査、統計・報告書、庁内調査等を踏まえた現状と課題

(2) 短期的ロードマップ(2030 年まで)

- 気候市民会議に基づく提言
- 主要な取組内容
- 取組のスケジュール
- 目的や取組の方向性
- 取組指標(2018 年度、2024 年度、2030 年度)

(3) 市民・事業者の取組

- ロードマップを踏まえた市民・事業者の取組

2. 事業所における低炭素化の推進

3. 移動における低炭素化の推進

4. 発生抑制を優先とした 3R の推進

5. 吸収源となるみどりの保全と創出

6. 環境教育・環境学習の機会の充実及び情報の発信

2～6 についても同様の項目を示す。

- 長期的ロードマップ(2050 年まで)

第5章 気候変動に向けた適応策【最新情報に更新予定】

1. 市で考えられる気候変動の影響評価

・気候変動の影響評価

- 日本の気候変動 2025 を踏まえた内容
- 国の第 3 次評価報告書(2025 年冬に公表予定)

2. 分野ごとの適応策

(1) 農業

(2) 水環境・水資源

(3) 自然生態系

(4) 自然災害・沿岸域

(5) 健康

(6) 産業・経済活動

(7) 国民生活・都市生活

国の方針に合わせて、より分野・項目を絞った対策とするか要検討

3. 分野横断的な適応策

(1) 適応策に関する普及啓発

(2) 気候変動に関する影響の把握

第6章 重点施策【要検討】

- ・重点施策1 省エネチャレンジ事業の実施
- ・重点施策2 新エネルギー機器等利用設備補助制度の拡充
- ・重点施策3 食品ロスをはじめとしたごみの発生抑制の促進
- ・重点施策4 クールスポットの創出
- ・重点施策5 まちなかのみどりの創出

第4章や気候市民会議の提言等を踏まえ、重点項目や内容の見直しを要件等



環境省補助事業(第1号事業)の項目を踏まえて重点施策を検討

環境省「地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業」の5項目

- ①地域の再エネ目標と意欲的な脱炭素の取組の検討による計画策定支援
- ②公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査支援
- ③官民連携で行う地域再エネ事業の実施・運営体制構築及び事業の多角化支援
- ④再エネ促進区域の設定等に向けたゾーニング支援
- ⑤再エネ促進区域等における地域共生型再エネ設備導入調査支援

第7章 計画の推進【気候市民会議を追加】

1. 庁内推進体制

- ・環境基本計画推進本部
- ・地球温暖化対策地域推進計画推進責任者(各所属長)
- ・事務局(環境部環境政策課)

2. 地域推進体制

- ・みどり東京・温暖化防止プロジェクト
- ・多摩地域などでの地域間連携
- 気候市民会議

3. 計画の進捗点検、評価

- ・PDCA サイクル
- ・環境審議会、環境基本計画推進本部

第 1 回小金井市気候市民会議概要資料

○第 1 回小金井市気候市民会議の目的

気候変動の問題や小金井市の現状について事前学習を行い、気候変動について理解を深めていただいたうえで、市民の皆さんから小金井市の課題について意見交換をしていただくことを目的としています。

○本日のスケジュール

- 13:00～ 受付
- 13:30～ 小金井市気候市民会議開会宣言（小金井市長 白井 亨）
- 13:35～ 気候市民会議の概要
- 13:40～ 気候変動問題の現状と将来、その対策（法政大学名誉教授 田中 充 氏）
- 14:10～ 小金井市の現状
- 14:30～ 休憩
- 14:35～ グループワークの説明
 - 14:40～ 1 ターム目：テーマ 1「再エネ、省エネにおける市の課題」 【15 分】
 - 14:55～ 2 ターム目：テーマ 2「まちづくり、ごみ、交通における市の課題」 【15 分】
 - 15:10～ 3 ターム目：テーマ 3「環境教育、参加協働における市の課題」 【15 分】
 - 15:25～ 4 ターム目：グループ意見の取りまとめ 【15 分】
- 15:40～ 休憩
- 15:45～ グループ意見の総括（グループ発表）【各グループ 5 分】
- 16:15～ フィールドワーク
- 16:25～ 第 2 回小金井市気候市民会議の説明
- 16:30 ワークショップ終了

○本日の配布物

・資料 ・名札 ・ペン ・付箋

○講師の先生のご紹介

法政大学 名誉教授 田中 充 先生

専門は環境政策論。1952 年生まれ、東京大学理学部・同大学院理学系研究科修了、理学修士。川崎市勤務を経て 2001 年 4 月より法政大学社会学部教授、2014～2015 年度同社会学部長。環境アセスメント学会会長、中央環境審議会委員の他、東京都、神奈川県などの環境審議会委員を務める。主な著書に『気候変動に適応する社会』（技報堂）、『地域からはじまる低炭素・エネルギー政策の実践』（ぎょうせい）など。



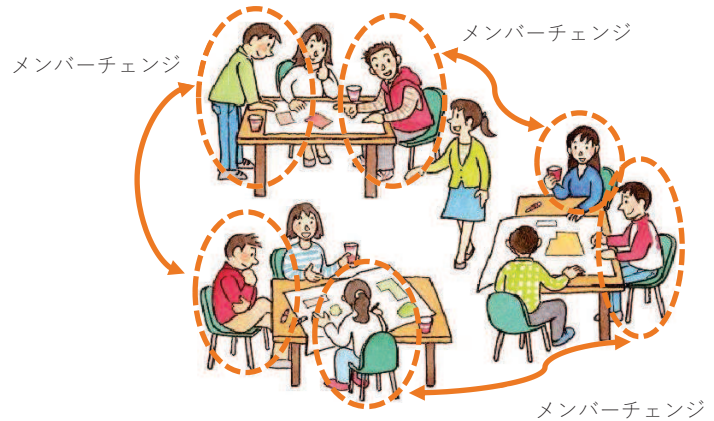
○グループワークについて

●ワールドカフェ方式とは

5人程度の少人数の発言しやすい空間で自由な対話することで、全員の発言の機会が増え、互いの話をよく聞き、より深い話し合いができます。また、グループのメンバーを入れ替えることで、多くの参加者と意見交換することができ、新しいアイデアが生まれやすくなります。

●気を付けること

- ・対話を楽しむ
- ・話をよく聞く
- ・否定せず、受け入れる
- ・断定せず、押し付けない
- ・質問して広げる
- ・無理に結論をまとめようとするしない



●手順

1 ターム目

テーマについて
アイデアをだす

- ・タームごとにトークテーマを設けます。
- ・テーマについて自由に意見を出し合います。
- ・テーブルの中央にテーマを書き、話したこと、感じたことなどを書き留めます。
- ・15分経過したら、別のテーブルに移動します。

2 ターム目

多くのアイデア
とふれあう

- ・進行役が前タームで話し合われたことを簡単に説明し、新しいメンバーと共有します。
- ・テーマについて自由に対話し、アイデアを書き留めます。
- ・15分経過したら、まだ行っていないテーブルに移動します。

3 ターム目

多くのアイデア
とふれあう

- ・2ターム目と同様。
- ・15分経過したら、各自1ターム目のテーブルに戻ります。

4 ターム目

アイデアを
統合する

- ・お互いに別のテーブルの対話での気づきや感じたこと、新しいアイデア等を共有します。
- ・発表に向け、これまでの意見を簡単にまとめます。ひとつに結論づける必要はありません。

発表

- ・テーマごとのアイデアを全体で共有します。

(令和 7 年 7 月 1 日現在)

第 1 回小金井市気候市民会議

～気候変動について理解を深めよう～

7月6日（日） 13：30～（受付開始13：00）
萌え木ホール

いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪



小金井市

本日の流れ

- 13 : 30～ 小金井市気候市民会議開会宣言（小金井市長 白井 亨）
- 13 : 35～ 気候市民会議の概要
- 13 : 40～ 気候変動問題の現状と将来、その対策
(法政大学名誉教授 田中 充 氏)
- 14 : 10～ 小金井市の現状
- 14 : 30～ 休憩【5分】
- 14 : 35～ グループワーク【15分×4回】
- 15 : 40～ 休憩【5分】
- 15 : 45～ グループ意見総括【5分×6グループ】
- 16 : 15～ フィールドワーク及び第2回会議の説明
- 16 : 30 第1回気候市民会議終了

小金井市気候市民会議 開会宣言

小金井市気候市民会議の概要

小金井市気候市民会議の目的

- ・気候危機に対し、市民の皆さんが「自分としてできること」「地域でできること」等を考え、話し合うための場として開催
- ・地球温暖化対策等の問題について、真剣に市民の皆様と一緒に行動していきたい
- ・会議における意見等を政策提言として小金井市へ

小金井市気候市民会議の概要

小金井市気候市民会議の流れ

第1回 気候市民会議

フィールド ワーク

第2回 気候市民会議

第3回 気候市民会議

小金井市へ取組の提言

【テーマ】 気候変動について理解を深めよう	【訪問先1】 メタウォーターサステナブルパークこがねい	【テーマ】 暮らしの脱炭素について考えよう	【テーマ】 小金井市への政策提言をとりまとめよう
【グループワーク】 小金井市の課題	【訪問先2】 環境楽習館・滄浪泉園	【グループワーク】 課題解決に向けた取組	【グループワーク】 提言最終案の作成
【開催日時】 7月6日(日) 13:30～16:30	【開催時】 7月12日(土) 10:00～12:30	【開催時】 8月2日(土) 13:30～16:30	【開催時】 9月6日(土) 13:30～16:30

気候変動問題の現状と将来、 その対策

※別資料にて田中先生のご講演

小金井市の現状

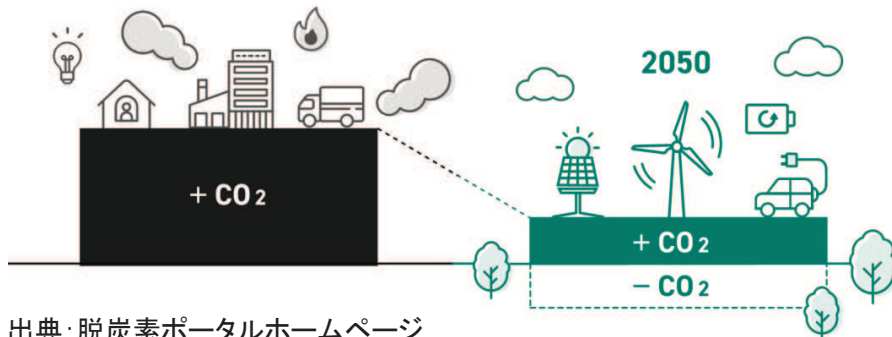
小金井市気候非常事態宣言

2022年1月「小金井市気候非常事態宣言」を表明

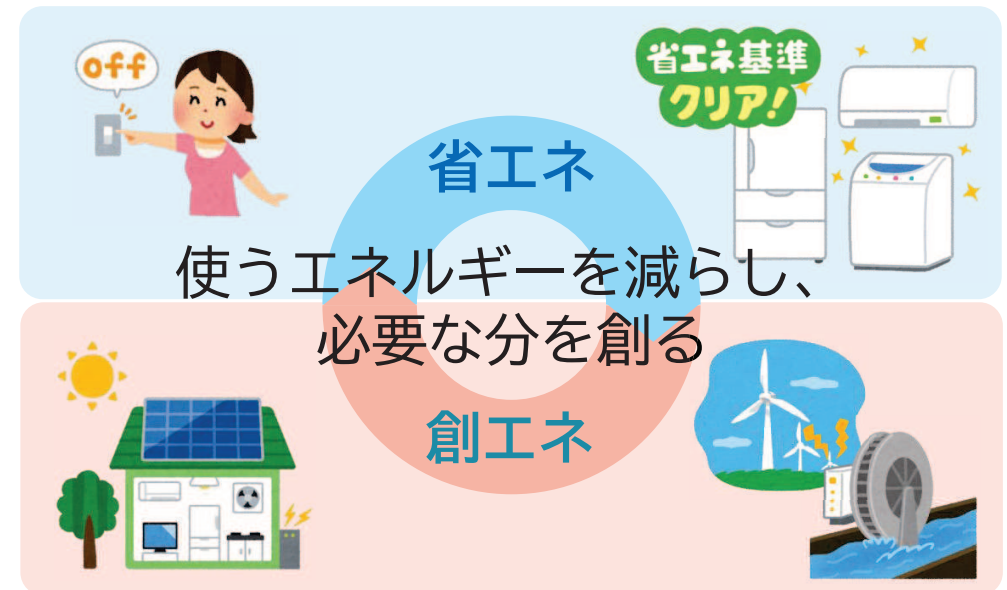
- 「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」にする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明

カーボンニュートラル

- エネルギー消費などによる排出量
- 森林などによる吸収量と
上記を合わせて、±ゼロにする

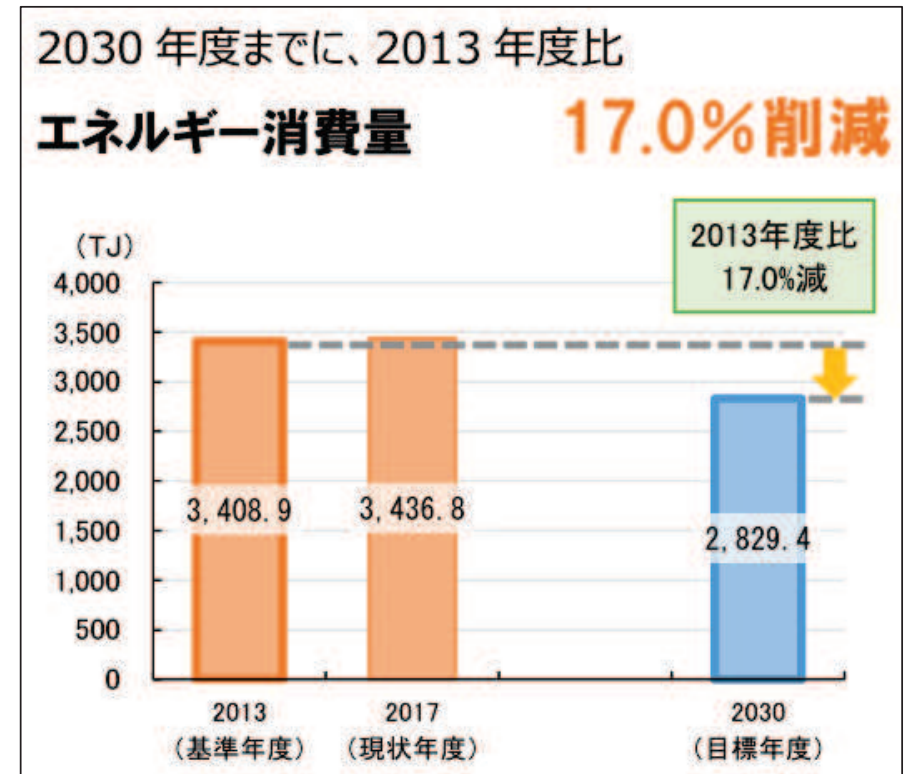
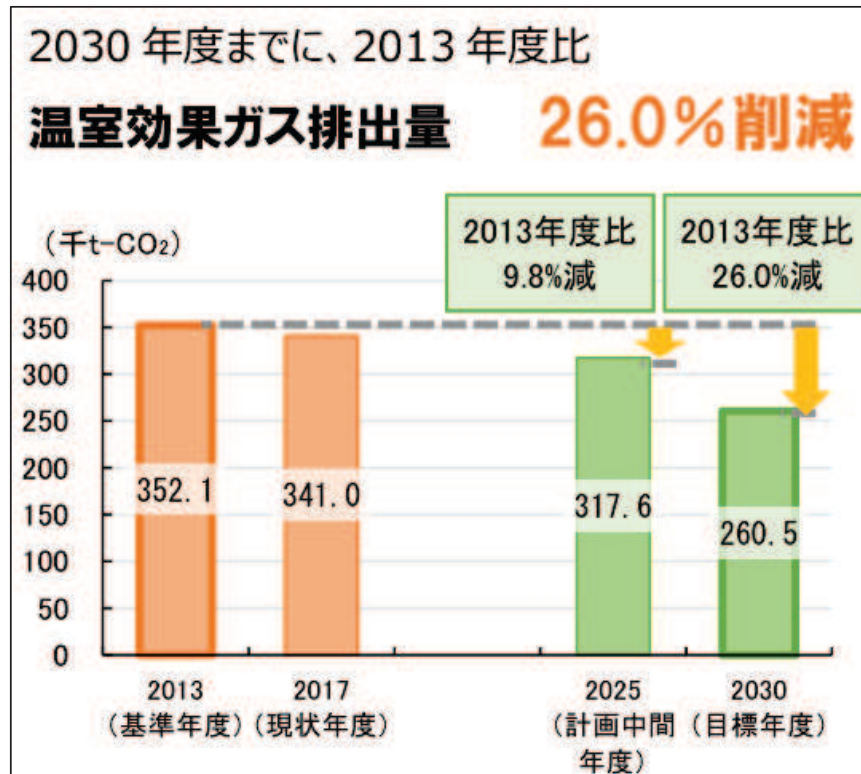


出典: 脱炭素ポータルホームページ



第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画

- 計画で目標を設定し、その達成に向けて施策を実施



第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画

基本方針1

家庭における低炭素化の推進



施策の方向

- ・省エネルギー機器・再生可能エネルギー設備の導入
- ・住宅の低炭素化の推進
- ・低炭素化につながる行動・活動の推進

基本方針3

移動における低炭素化の推進



施策の方向

- ・交通手段の転換の推進
- ・自動車の低炭素化の促進
- ・エコドライブ、カーシェアリングなどの取組促進

基本方針5

吸収源となるみどりの保全と創出



施策の方向

- ・まとまったみどりの保全
- ・公園・緑地の創出・活用
- ・みどりのまちなみの創出

基本方針2

事業所における低炭素化の推進



施策の方向

- ・事業所の低炭素化の推進
- ・機器・設備の低炭素化の推進
- ・低炭素化につながる行動・活動の推進



基本方針4

発生抑制を優先とした3Rの推進



施策の方向

- ・日常生活における3Rの徹底
- ・分別・減量を徹底する啓発活動の強化
- ・事業活動における3Rの推進

基本方針6

環境教育・環境学習の機会の充実及び 環境情報の発信

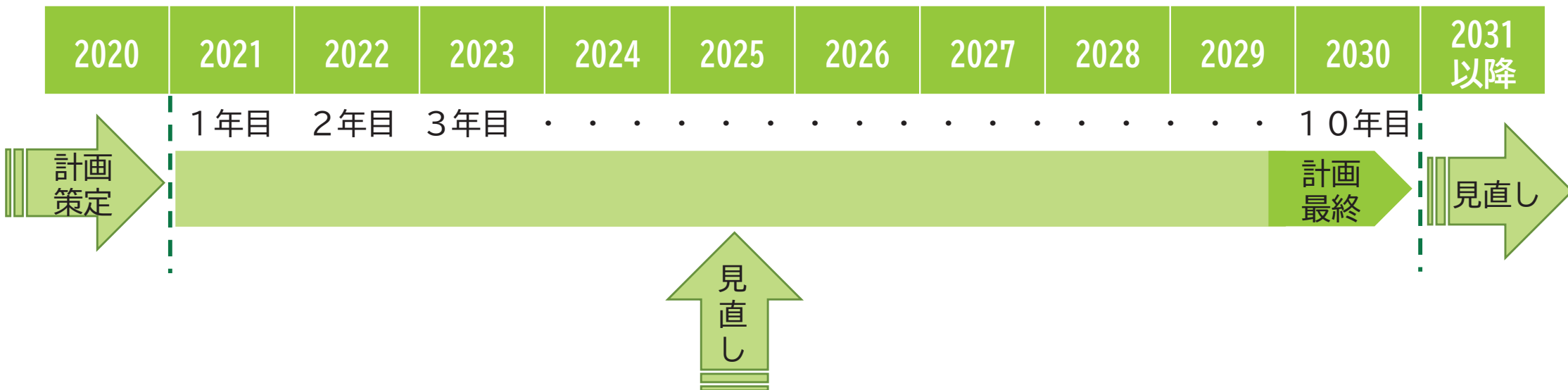


施策の方向

- ・環境教育・環境学習の機会の充実
- ・効果的な情報発信

計画の期間

計画期間：2021年度から2030年度の10年間

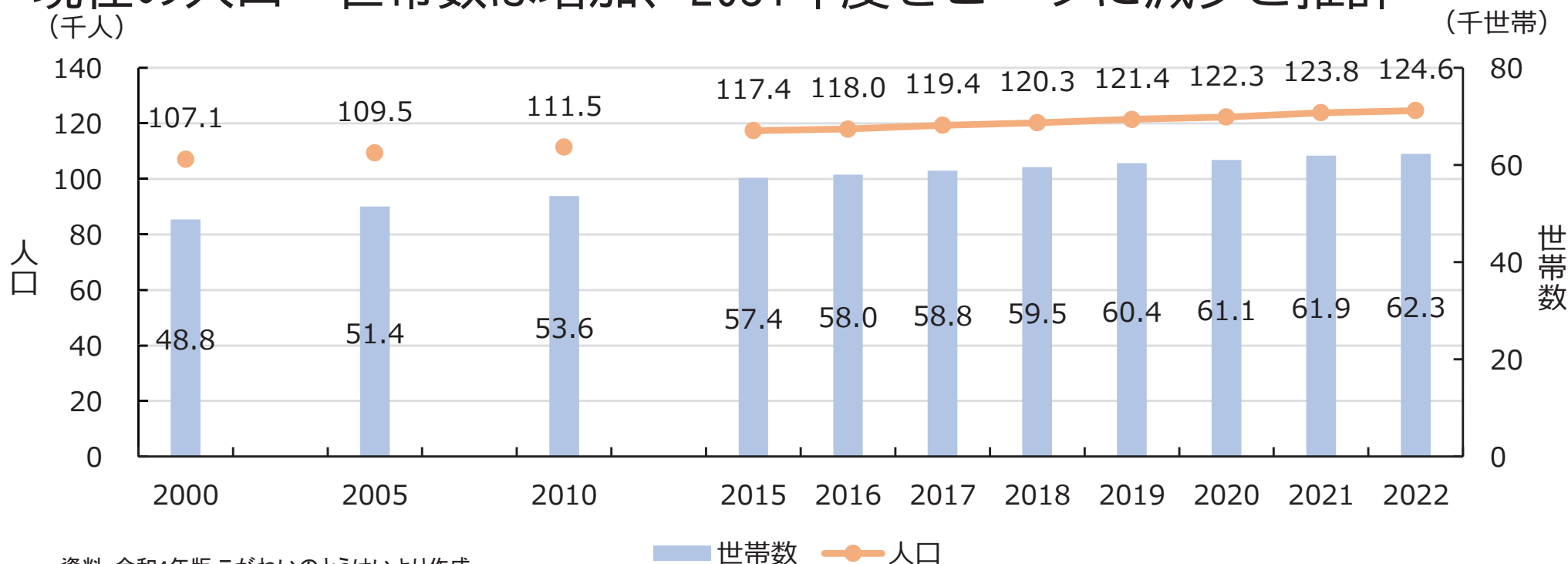


国内外の経済社会動向の著しい変化などが起きた場合は、計画の点検、見直しを随時検討

人口・世帯数について

現在、人口・世帯数は増加、高齢化率は2割を上まわっている

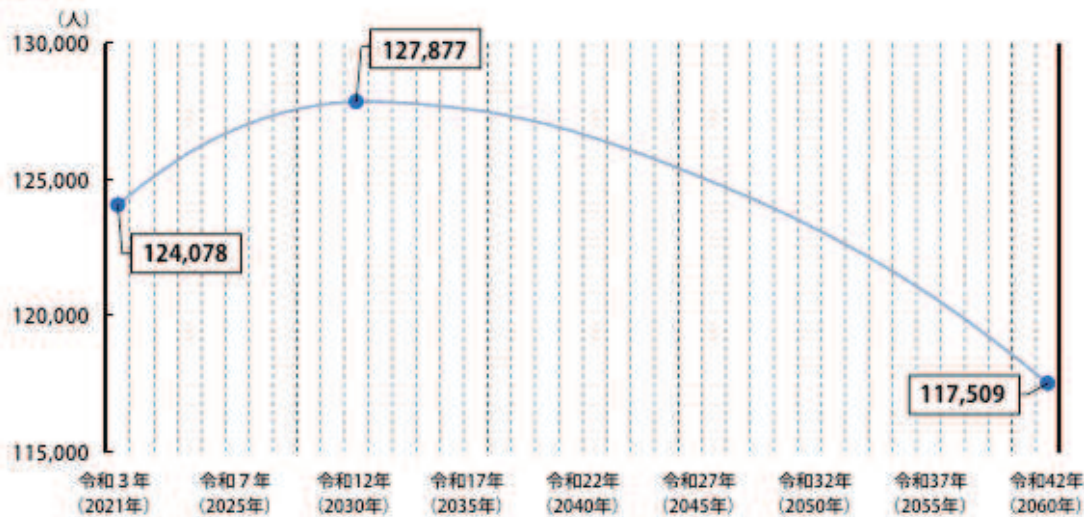
- ・現在の人口・世帯数は増加、2031年度をピークに減少と推計



人口ビジョンについて

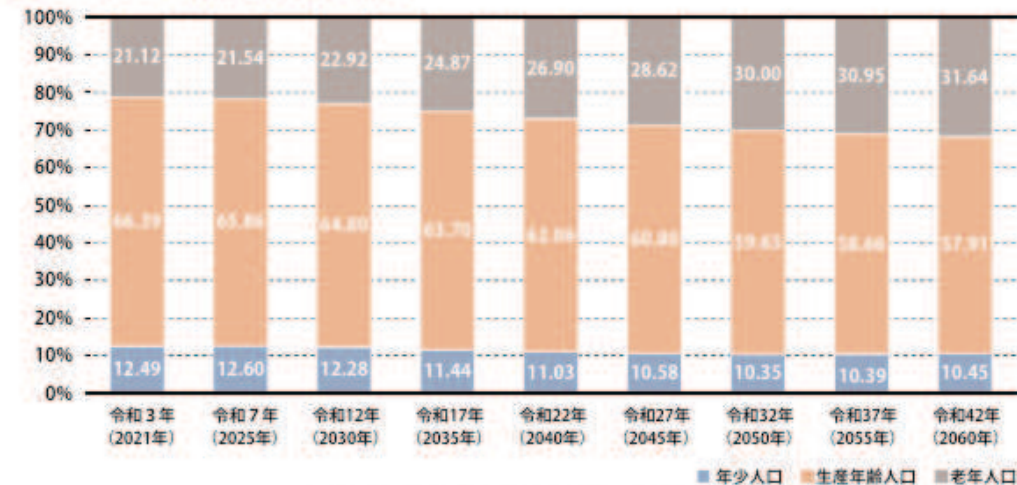
2031年をピークに減少、年々高齢化率が上昇

■人口推計



資料: 小金井市人口ビジョン

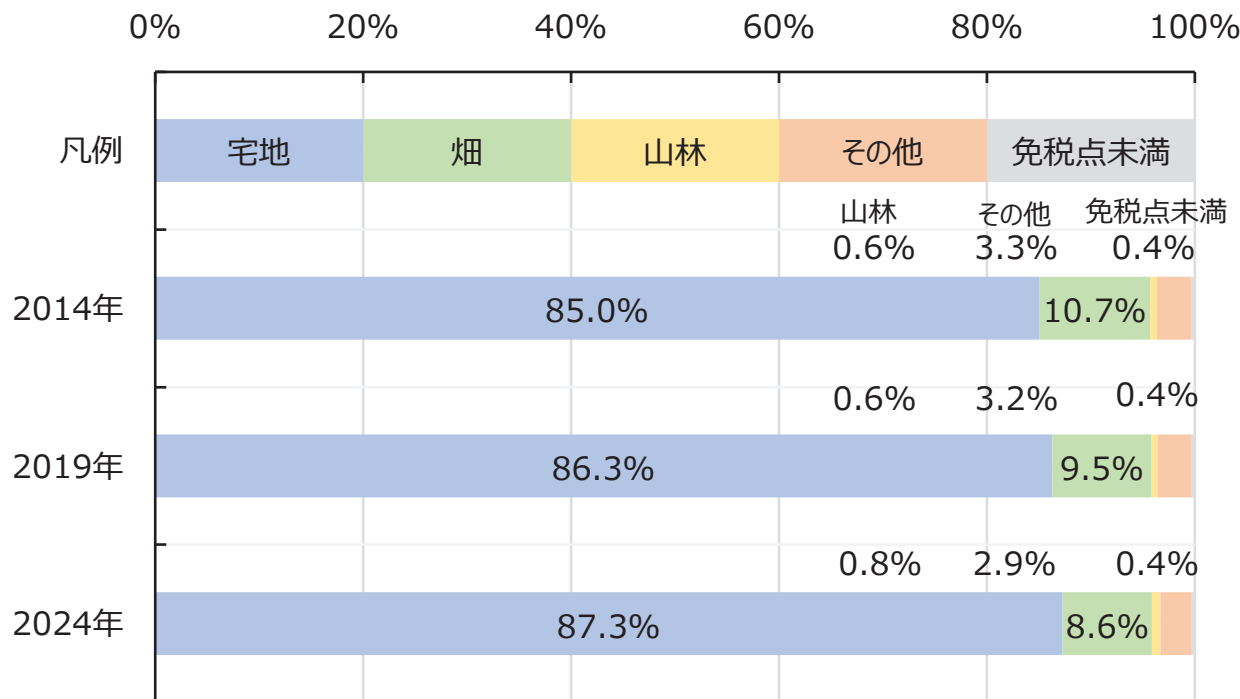
■5年ごとの年齢3区分別人口割合の推移



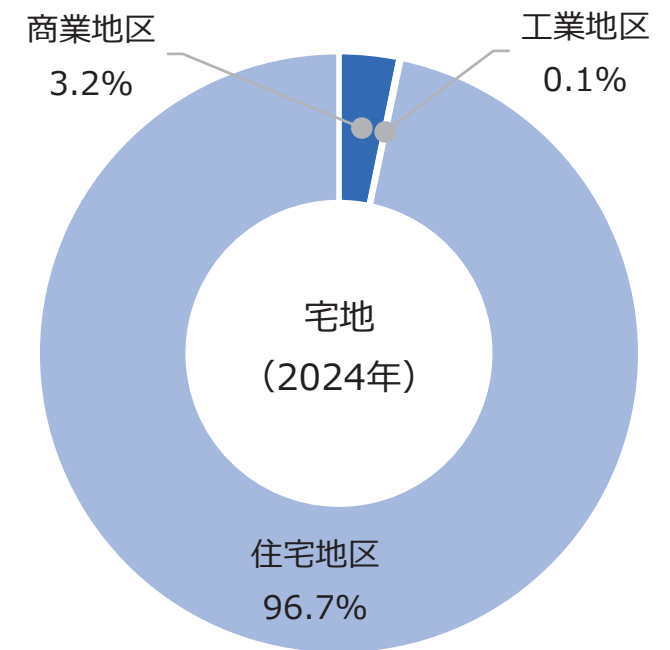
※小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

土地利用について

約9割が宅地で、ほとんどが住宅地区となっている

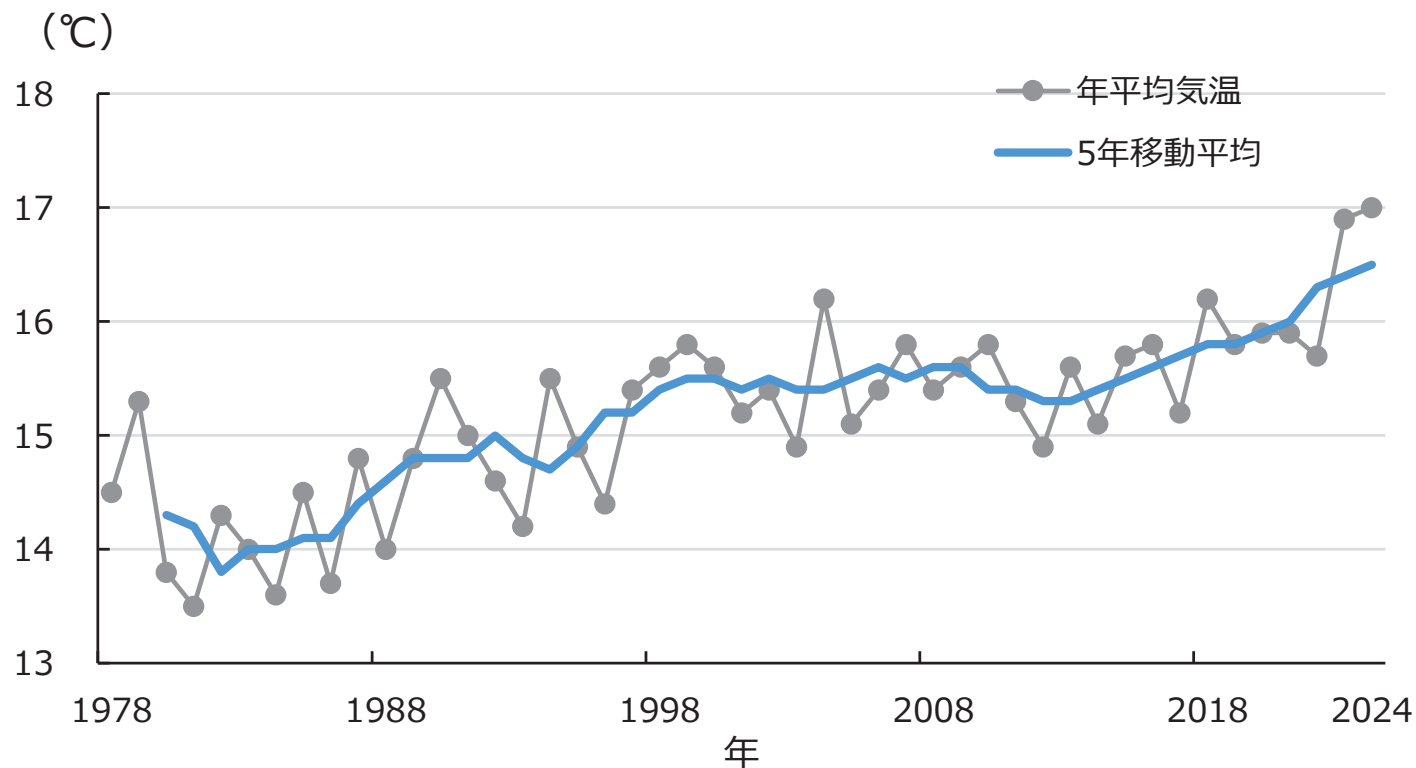


資料：多摩・島しょ地域データブックより作成



気象について

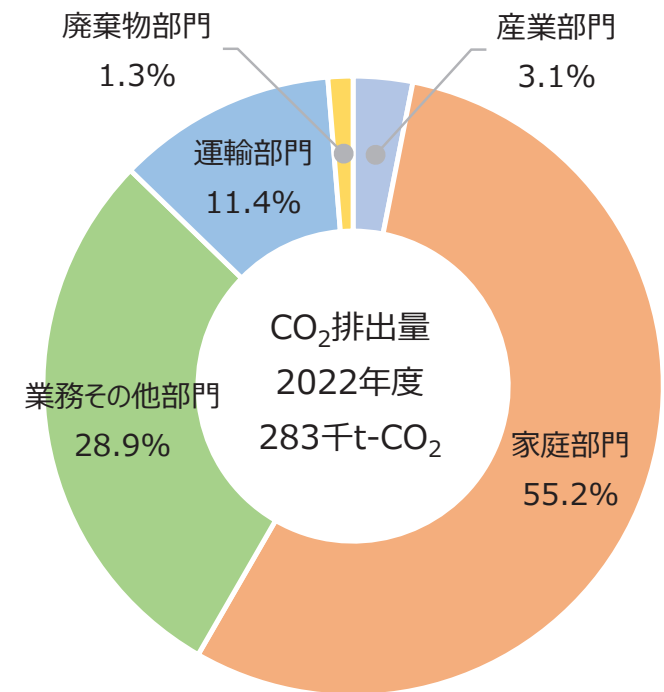
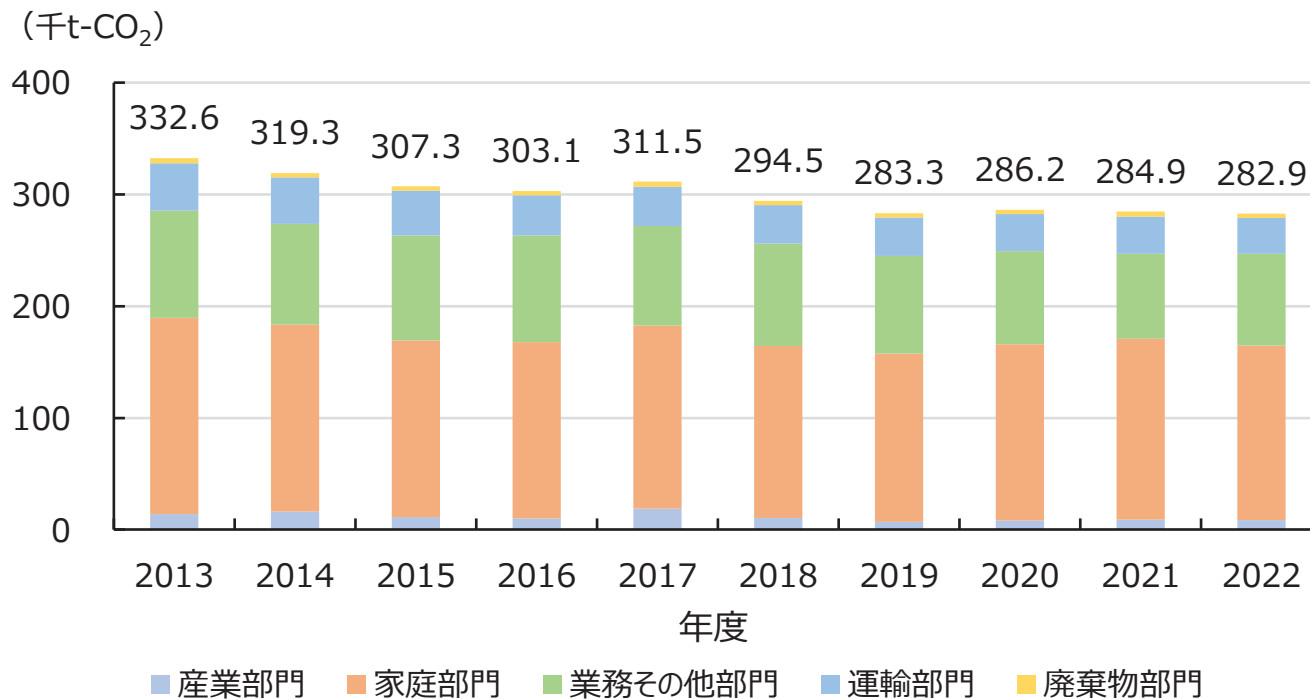
年平均気温は1978年から2024年で2.5℃増加



資料: 気象庁「過去の気象データ」(府中観測所)より作成

温室効果ガス排出量について

2022年度は2013年度比14.9%減少、家庭部門が半分を占めている

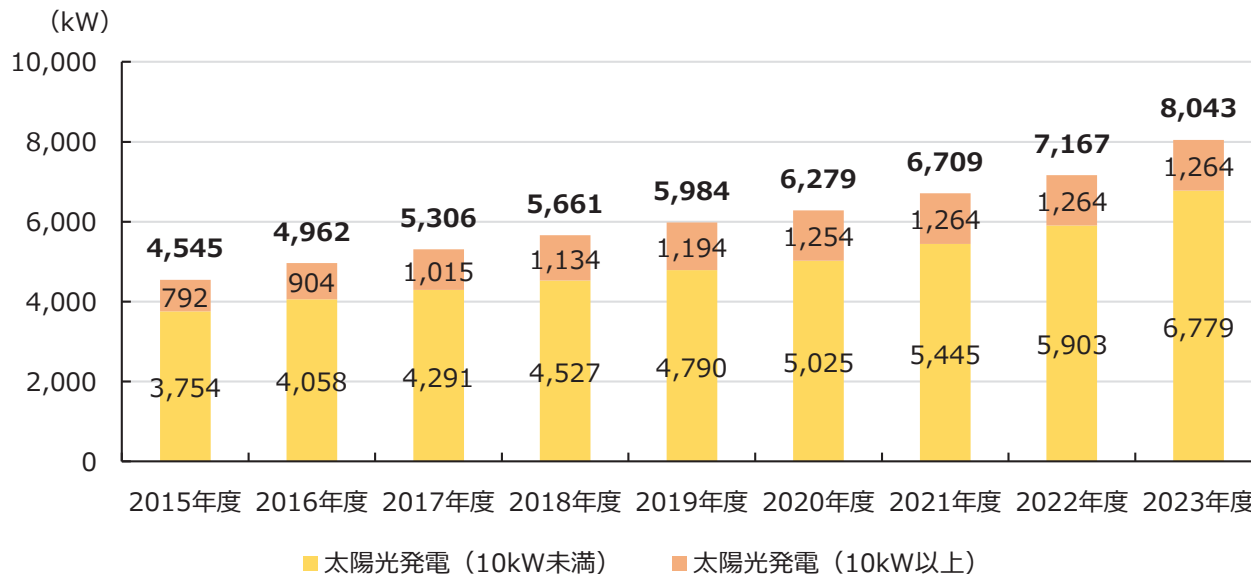


資料: 多摩地区の温室効果ガス排出量より作成

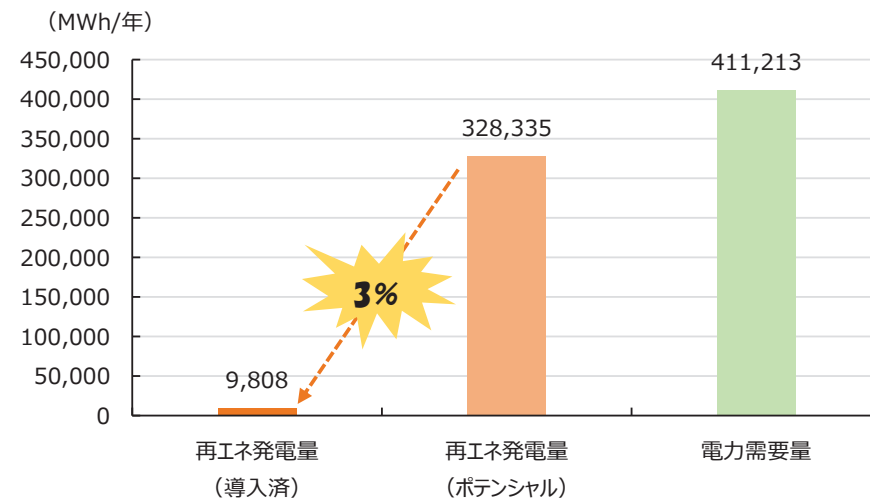
再エネ・省エネについて

太陽光発電設備の導入量は徐々に増加

- ・ 導入ポテンシャルに対しては3%の導入率である
- ・ 導入ポテンシャルは市の電気需要量を下回っている

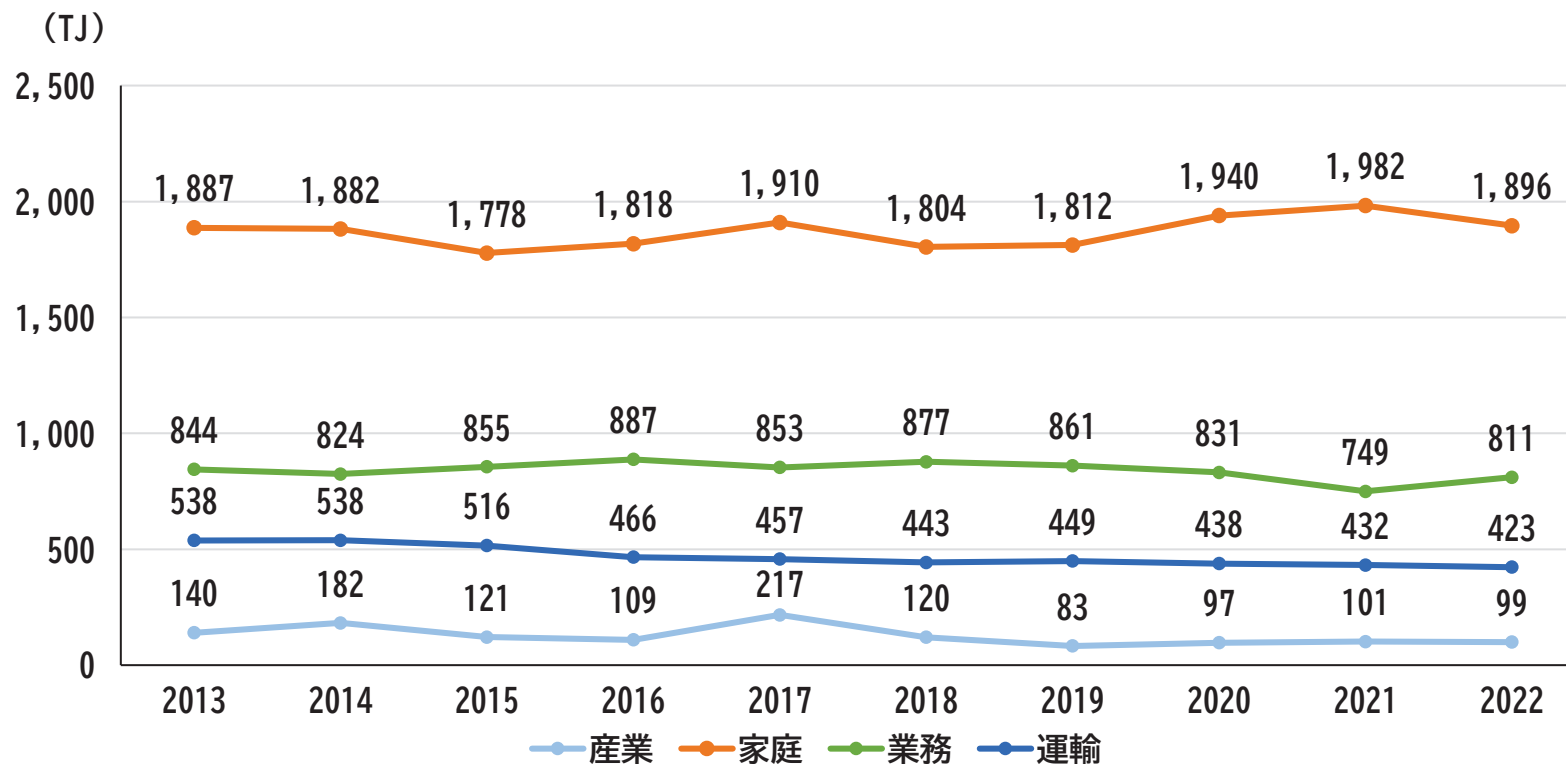


資料：自治体排出量カルテより作成



再エネ・省エネについて

エネルギー使用量は微減または横ばい



資料: 多摩地区の温室効果ガス排出量より作成

再エネ・省エネの取組について

再エネに関する取組

- ・ 太陽光発電、熱利用設備の補助事業の実施
- ・ 太陽光パネル・蓄電池の共同購入の募集
- ・ 公共施設への太陽光発電設備の導入 など

公共施設
太陽光発電
写真挿入を想定

省エネに関する取組

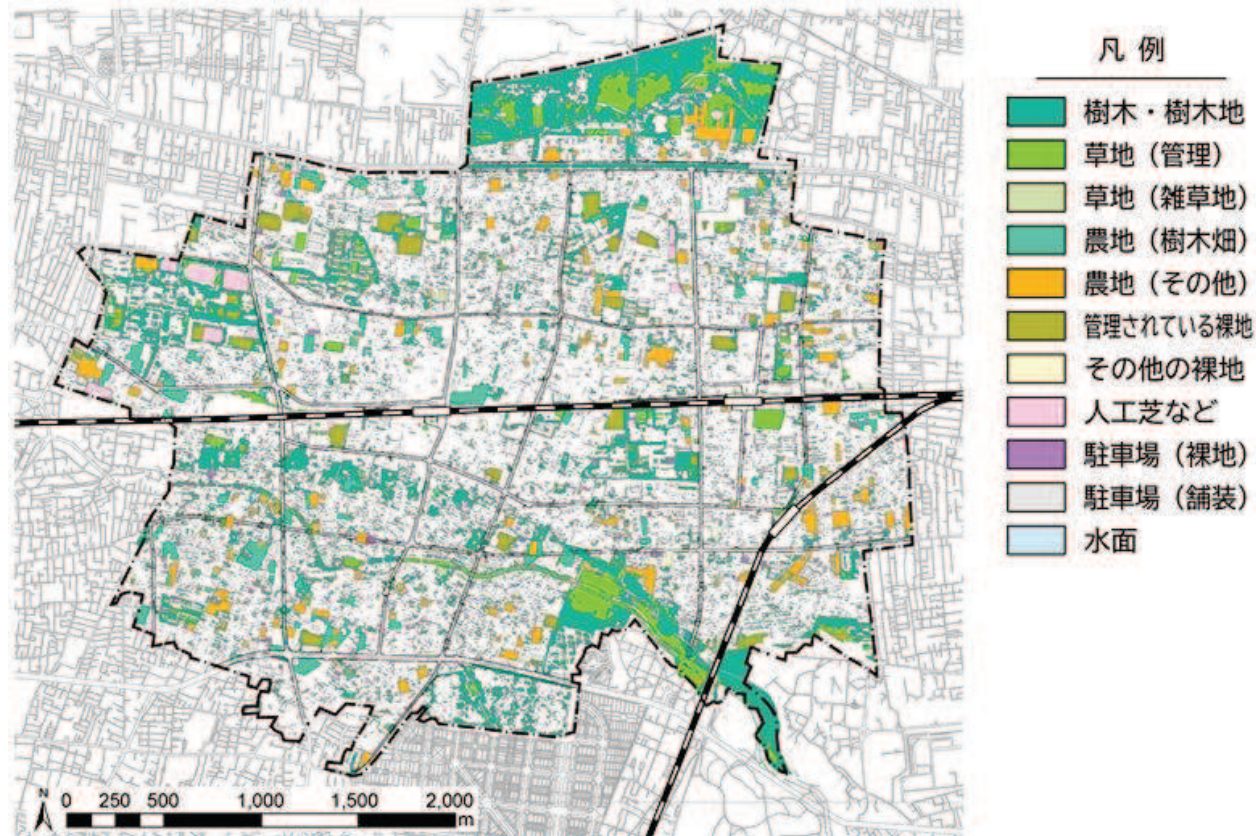
- ・ 住宅用新エネルギー機器等の補助事業の実施
- ・ 省エネチャレンジ事業の実施 など



省エネチャレンジの募集チラシ

まちづくり・ごみ・交通について

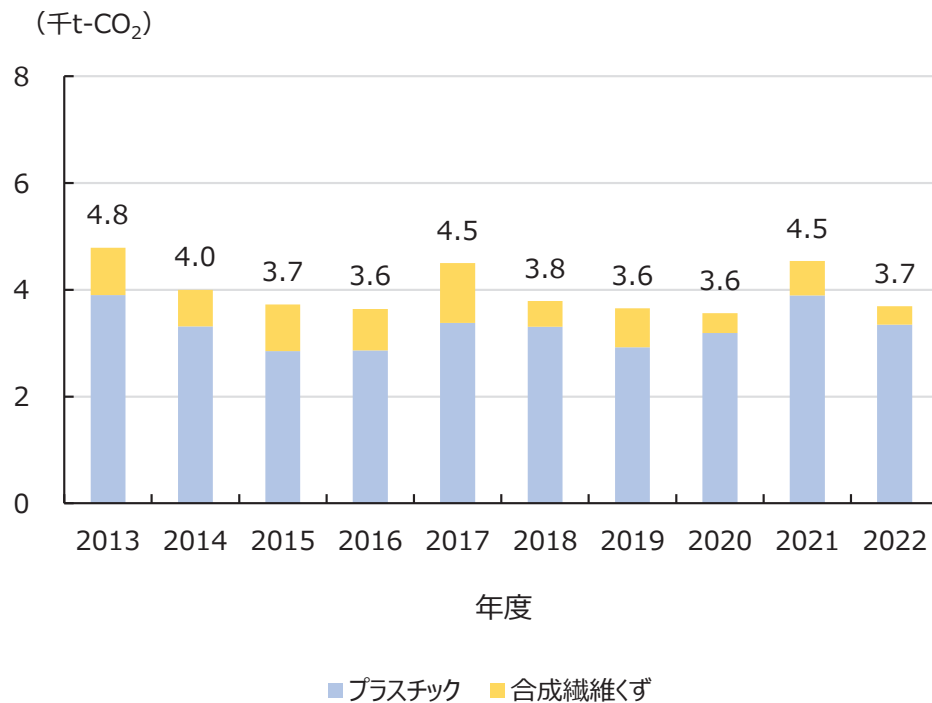
主要なみどりとして公園、緑地、河川及び学校などが位置



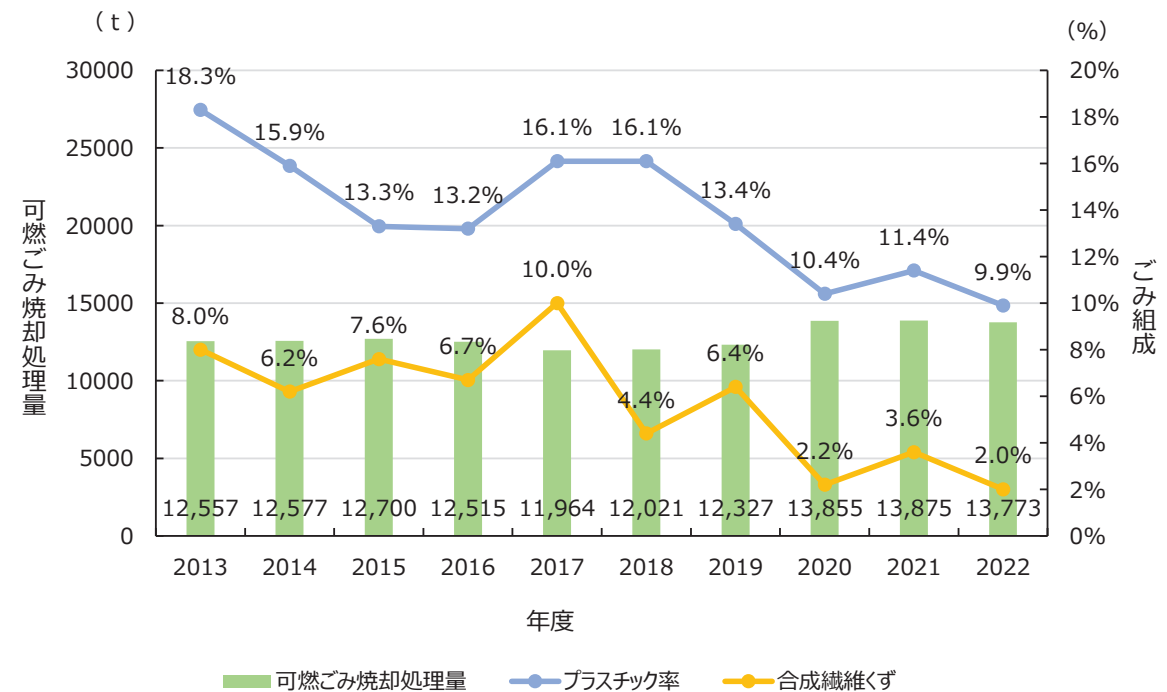
資料：小金井市都市マスタープラン

まちづくり・ごみ・交通について

廃棄物由来の排出量、プラスチック・合成繊維くず割合は減少

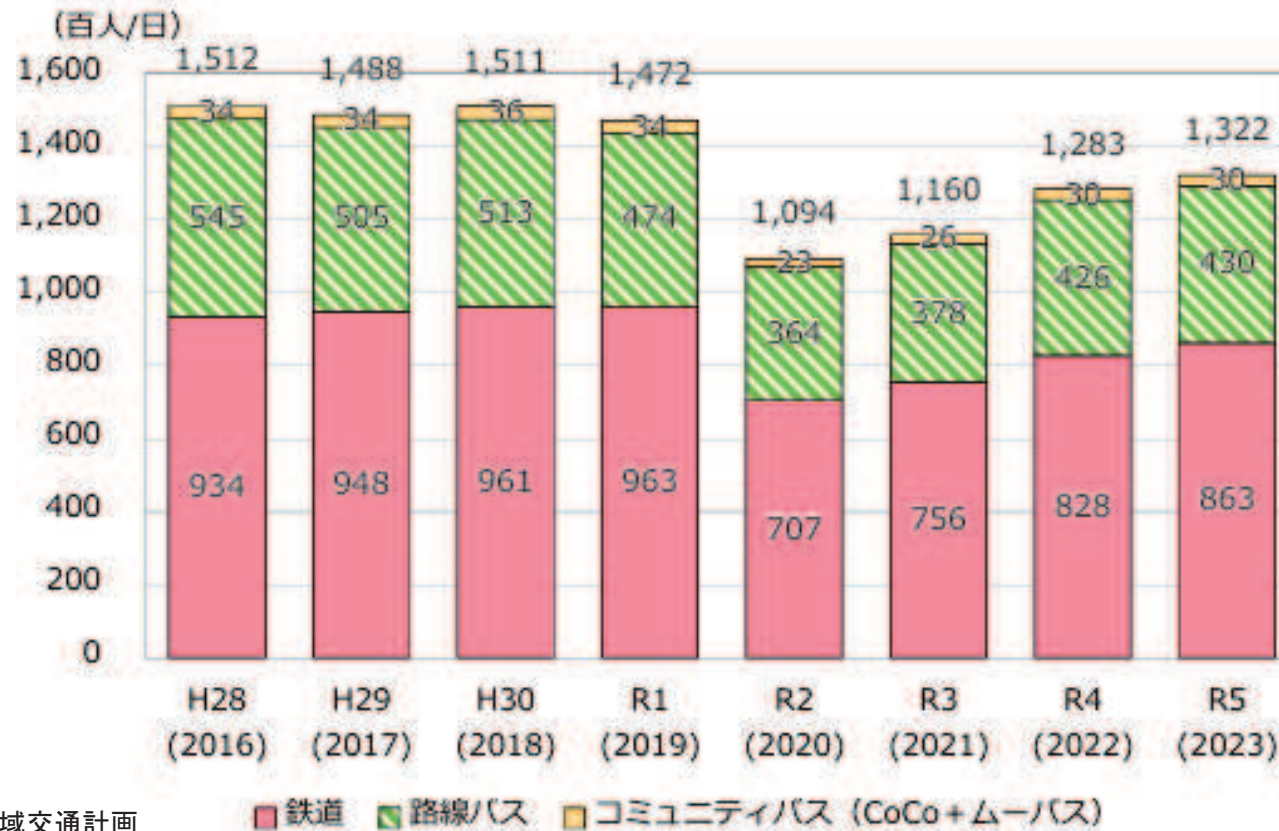


資料: 多摩地区の温室効果ガス排出量より作成



まちづくり・ごみ・交通について

公共交通の利用状況は令和2年度に減少し、以降徐々に回復傾向



資料: 小金井市地域交通計画

まちづくり・ごみ・交通の取組について

まちづくりの取組

- ・ 森林環境譲与税活用事業の実施
- ・ 生け垣造成奨励金交付制度の実施

など

ごみの取組

- ・ 食品ロス削減の促進
- ・ リサイクル推進協力店認定制度の実施

など

交通の取組

- ・ 次世代自動車の購入費用補助事業の実施
- ・ CoCoバス等の公共交通利用の促進

など



2020運動ポスター



CoCoバス・ミニ

環境教育・参加協働の取組について

環境教育の取組

- ・市内小学校での特別講義の実施
- ・森林教育事業（間伐体験）の実施
- ・環境フォーラムの開催

など



講義の様子

参加協働の取組

- ・小金井市環境賞（環境に関する絵画作品募集）の実施
- ・こども環境ワークショップの実施
- ・ボランティア活動の支援

など



間伐体験の様子



休憩

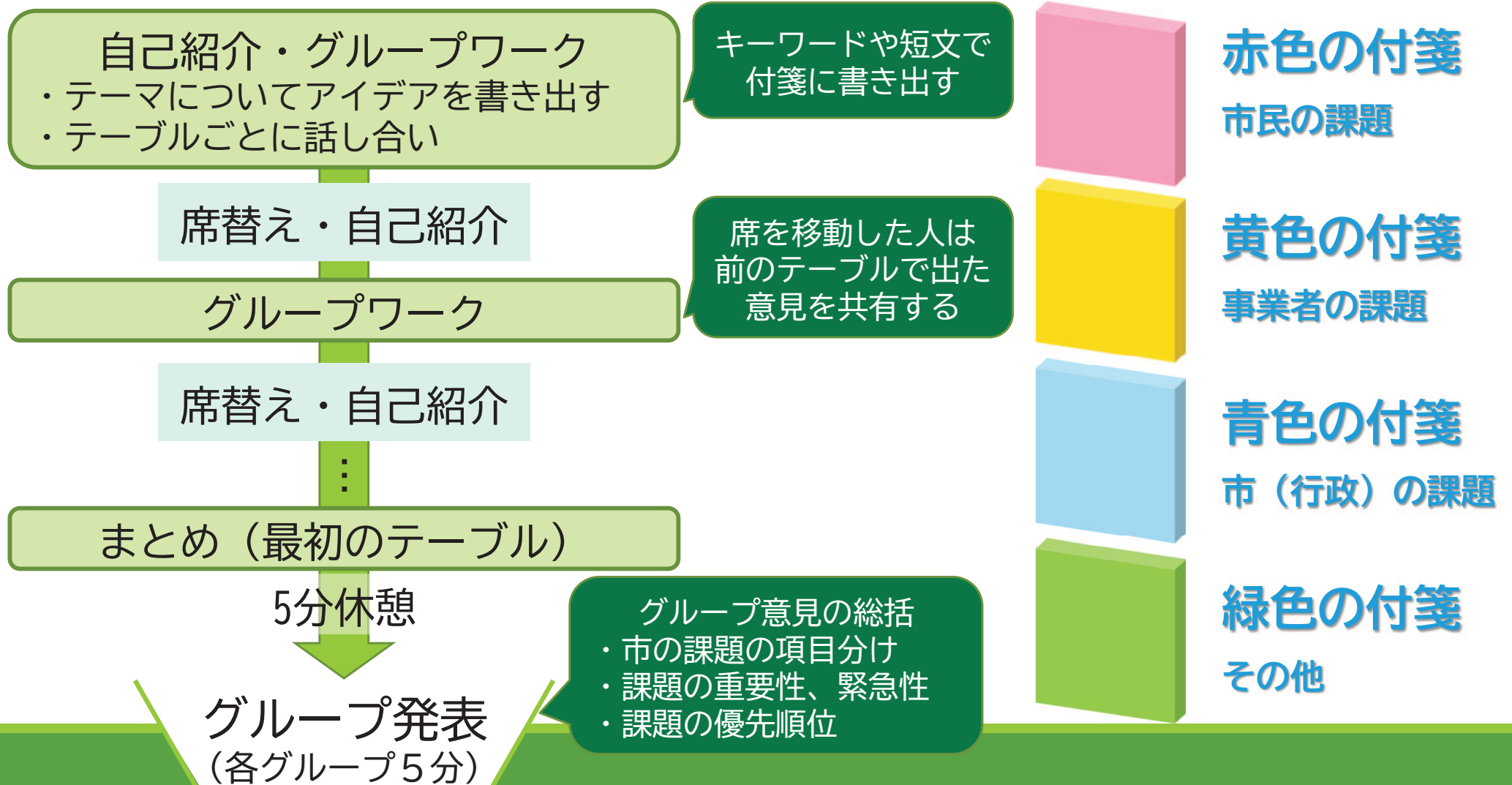
14 : 30 ~ 14 : 35

小金井市の課題について考えよう！

ーワールドカフェ方式ー



グループワークの流れ



本日のトークテーマ

□ テーマ1

再エネ、省エネにおける市の課題はなんですか？

□ テーマ2

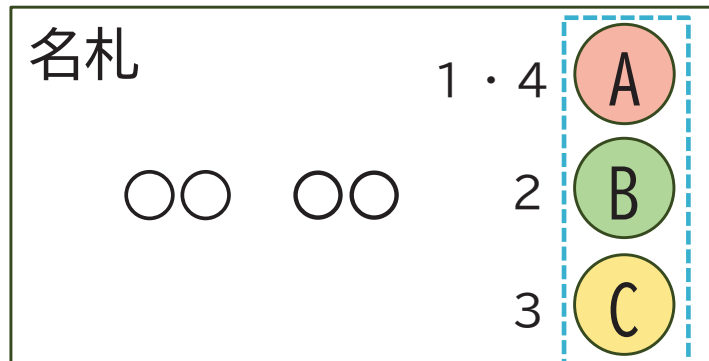
まちづくり、ごみ、交通における市の課題はなんですか？

□ テーマ3

環境教育、参加協働における市の課題はなんですか？

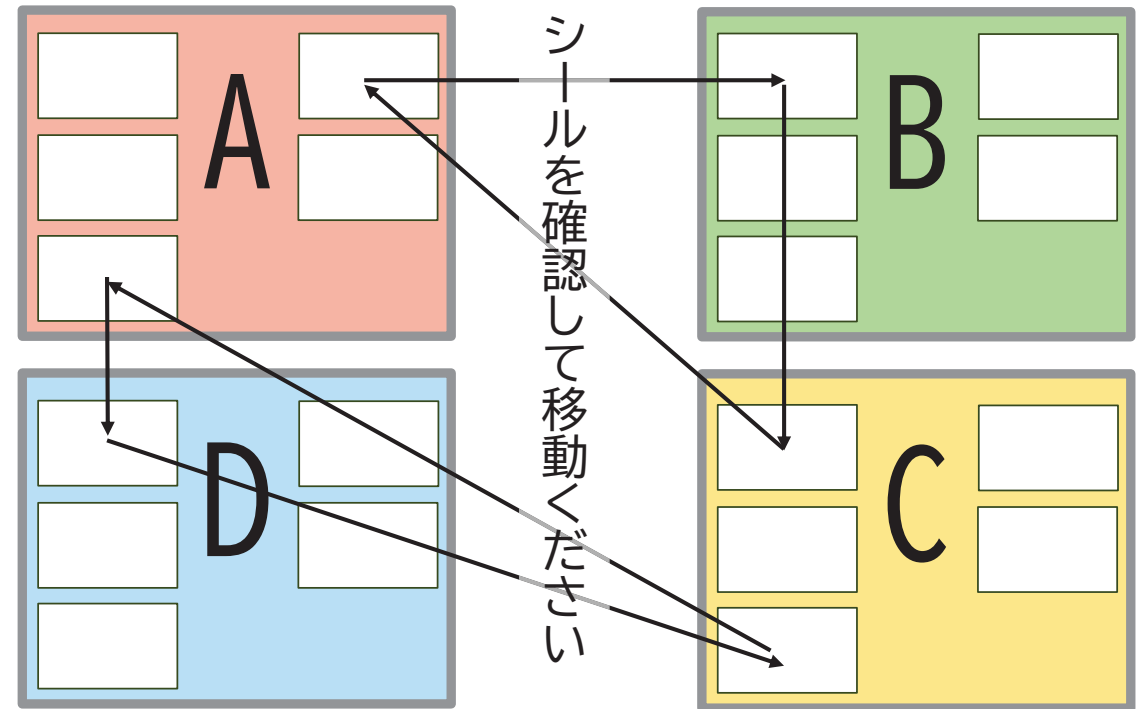
□ グループ意見の取りまとめ

テーブル移動について



席を示すシール

4つ目のテーマ（まとめ）では、
最初のテーブルに戻ってください



グループワークの楽しみ方

- テーマや時間を意識して話しましょう
- 他の人の意見も尊重し、耳を傾けましょう
- 思いついた考えを積極的に話しましょう
- 結論を無理にまとめる必要はありません

リラックスして 話し合いを楽しみましょう！

まずは自己紹介
テーマごとに対話を進めましょう！

グループワーク 1

再エネ、省エネにおける
小金井市の課題

14：40～14：55

まずは自己紹介
テーマごとに対話を進めましょう！

グループワーク 2

まちづくり、ごみ、交通における
小金井市の課題

14：55～15：10

まずは自己紹介
テーマごとに対話を進めましょう！

グループワーク 3

環境教育、参加協働における
小金井市の課題

15 : 10 ~ 15 : 25

対話で出てきた意見をもとに、
発表できるようにまとめよう！

グループワーク 4

グループ意見の取りまとめ
(小金井市の課題の項目分けや重要性など)

15 : 25 ~ 15 : 40

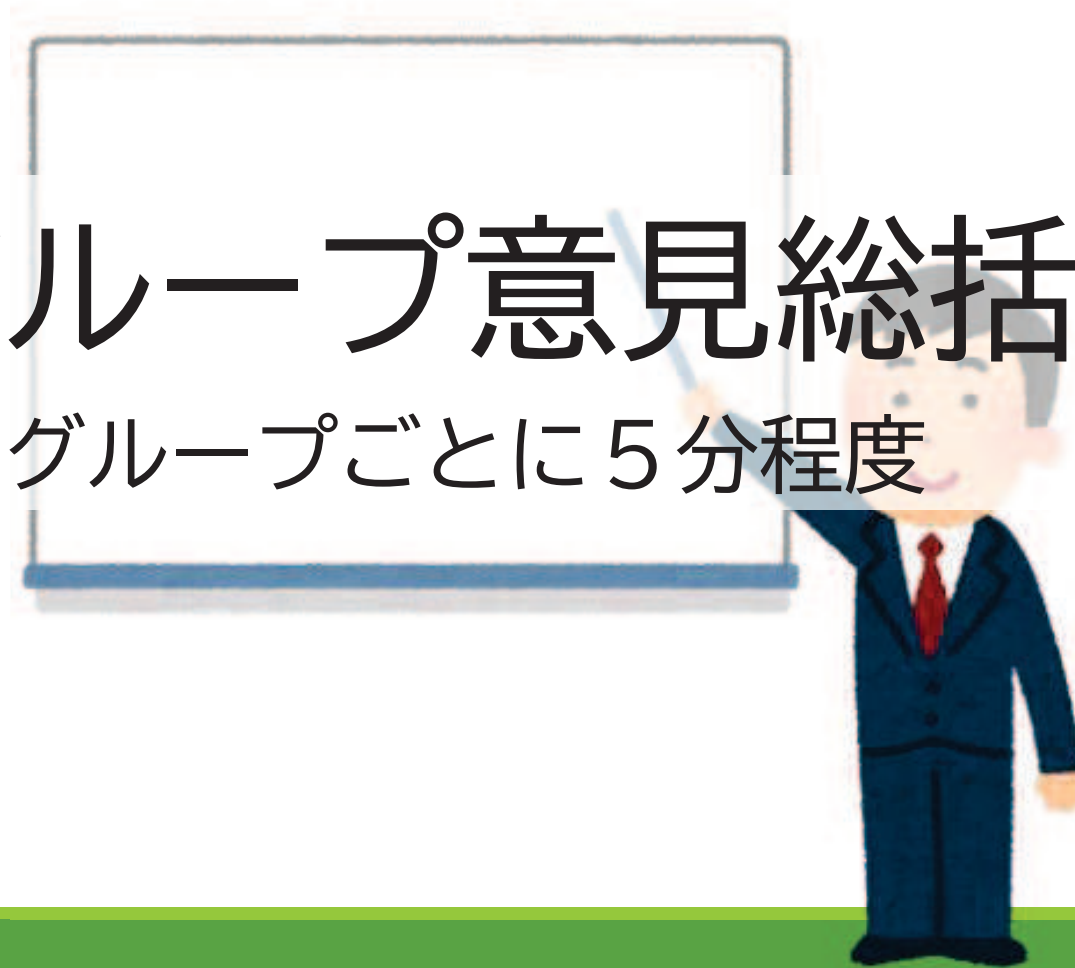


休憩

15 : 40 ~ 15 : 45

グループ意見総括

グループごとに5分程度



フィールドワーク及び第2回会議の説明

フィールドワークについて

※別添資料により説明

フィールドワーク及び第2回会議の説明

第2回気候市民会議

テーマ：暮らしの脱炭素について考えよう

開催日：8月2日（土）13:30～16:30

※後日グループ分けについてアンケートを実施いたします



ご参加いただき
ありがとうございました

フィールドワーク 企画案

1. フィールドワークの目的

テーマ：気候変動について理解を深めよう

気候変動の問題や小金井市の現状などの気候変動について理解を深めた上で、地球温暖化対策に係る身近な市の施策等へ触れていただく機会として、参加希望者で施設見学を実施します。

2. 開催日時・スケジュール案

令和 7 年 7 月 12 日（土）10:00～12:30 予定（※現地集合、現地解散を想定）

① メタウォーターサステナブルパークこがねい【1 時間 30 分】

【10 分】情報提供（委託事業者）：フィールドワークの流れ及び見学施設の概要
小金井市における温暖化対策

【15 分】施設の取組紹介

【65 分】施設内見学

※10 分間は施設内の移動時間等

② 移動（徒歩）【10 分】

③ 滄浪泉園【25 分】

【 5 分】滄浪泉園の説明

【20 分】園内の見学

④ 移動（徒歩）【5 分】

⑤ 環境楽習館【20 分】

【20 分】施設内設備の見学及び利用状況等の説明等

3. 人数構成

- ・参加者：市職員、市民含め 20～30 人程度を想定
- ・参加希望者についてはアンケート（紙面及び、二次元コード）の実施を予定
- ・委託事業者：3～4 名（進行：1 名、移動案内：1 名、撮影者：1 名）

4. メタウォーターサステナブルパークこがねい

小金井市内で排出される、プラスチックごみ、びん、ペットボトル、空き缶などを選別・圧縮・梱包し、資源にすることができる施設です。プラスチックごみを選別する過程において、手選別作業の安全性と効率性を高める向流式回転選別機（風力選別機）が導入されています。

「次世代につないでいく「サステナブル」な（持続可能な）施設となり、小金井市民の皆さまにとって公園のような憩いの場所にもなってほしい」という願いを込めたネーミングとなっています。



メタウォーターサステナブルパーク
こがねいの施設外観

5. 環境楽習館

身近な自然の力を活用し、環境負荷の少ない暮らしを体験できる住宅型の公共施設です。地球温暖化防止をはじめとする、環境学習の場として活用を行っています。

環境楽習館では太陽光発電などの設備を導入しているほか、水生生物の飼育等を行っています。



6. 滄浪泉園

明治・大正期に三井銀行の役員、外交官、衆議院議員などを歴任し、活躍した波多野 承五郎（雅号・古溪）氏の別荘の庭園で、小金井市の歴史と共に歩んできた「はけと湧水」をたくみに生かした由緒ある緑地です。

昭和 40 年代の開発の波により開発計画が起りましたが、市民の皆さんの熱心な保存運動により、昭和 52 年、都市緑地保全法に基づく「緑地保全地区」として指定を受けて東京都が買収し、小金井市が管理する有料の「自然緑地」として残されています。庭園内は都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」として、木・竹の伐採は規制されています。



滄浪泉園の入口

7. 移動ルート



以上

第3次小金井市環境保全実施計画

(前期：令和3～7年度、後期：令和8～12年度)

関係各課のご確認をお願いします。

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」・「継続」・「検討」・「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等を必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No. 施策毎の事業数 固有No.				事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施予定	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考		
000 計画推進の基盤づくり																									
010 基盤1 環境教育・環境学習																									
011 学習の場・機会の創出																									
011	1		011-1	環境講座	環境啓発事業の一部として環境講座を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境実習館から「小金井の地下水を学ぶ」（13人）を実施した。	気候非常事態宣言にも記載する「環境教育の充実」の一環として、地球温暖化や気候変動等の問題や水資源の大切さを学び、環境意識の醸成を図っていた。	A		A		A			
011	2	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年3月に小金井 宮地楽器ホール等で環境フォーラムを開催し、延べ1,373人の方が参加された。	「令和6年度こがねい環境フォーラム～みんなで考える小金井の環境～」と題して、自然と人が共生できる社会をめざすため、都市に暮らす私たちができることは何か、様々な角度から考える機会にしていたことができた。	A		A		A			
011	3	重複	011-3	グリーン野川作戦	市民、事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		10月6日に「野川環境フィールドワーク」として実施し、延べ78人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の採集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていただけるイベントとなった。	A		A		A			
011	4		011-4	環境施設見学会	環境啓発事業の一部として環境関連施設の見学会を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続												
011	5		011-5	小金井市環境賞	環境活動に功績のあった市民、市内の団体または事業者を表彰する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和5年度は41作品の応募だったが、令和6年度は65作品の応募があった。	年々応募作品が増えて、作品の多様さやクオリティが向上している。環境保全に対する意識を学齢期から育む機会となっている。	A		A		A			
011	6	重複	612-6	くるかみ出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		出張講座（7回）等で啓発活動を実施。	出張講座に際し使用する教材のデジタル化により、教育委員会への提供、HP掲載による周知効果の向上を図る。	A		A		A			
011	7		011-7	小金井市まなびあい出前講座	行政、各団体、企業等の協力を得て、職員・社員が市民の方へ出向いて情報を提供する「小金井市まなびあい出前講座」を行う。メニューに環境、まちづくり、防災、教育等がある。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		出前講座の実施回数 21回	前年度比増	A		A		A			
011	8	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座等を開催する。	公民館	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民講座、成人学校等主催講座を実施した。			A		A		A			
011	9		011-9	環境学習の推進（環境教育資料の提供）	環境教育にかかわる資料を学校に提供する。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都等が作成する資料やホームページなどを紹介	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりで達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…計画を超えた効果があった A…見込どわりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No	施策毎	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値	結果（効果や課題）	令和7年度の実	令和7年度の実	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
011	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、学習の場・機会の創出を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-												
012_ 担い手の創出																									
012	-		-	-	（「011_学習の場・機会の創出」と概ね重複するため省略。）	-	-	-	-	-	-	-	-												
020_ 基盤2 環境活動																									
021_ 市民協働体制の強化																									
021	1		021-1	環境市民会議との協働	環境市民会議による活動を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		補助金交付による活動の支援のほか、複数回協議を実施した。	環境保全に関して共有することができ、連携が図れている。	A		A		A			
21	2	重複	131-2	環境市民会議によるみどり調査の支援	環境市民会議によるみどり調査に対する支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		みどりの基本計画中間調査も予定しているため、調査を見送った。	環境市民会議のみどり調査メンバーの高齢化により調査が難しい面もあるため、支援内容を協議する必要がある。	A		C		－（評価になじまない）		みどりの基本計画中間調査も予定しているため、調査を見送り、支援については評価できない。	
021	3	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用員の提供	活動の継続、モチベーションの向上を	A		A		A			
021	4	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代掻きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		年間で8回行われた活動を広報掲載等の支援を行った。	小金井市環境市民会議との共催事業であり、稲作体験等を通して市民に生物多様性や伝統文化について理解を深めていただいた。	A		A		A			
021	5	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は70名。市民との協働による環境美化活動を推進した。	－	A		A		A			
021	6		021-6	こがねい市民活動団体リスト	市民活動団体の情報が掲載された「こがねい市民活動団体リスト」を更新する。	コミュニティ文化課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年8月1日に改訂版のリストを発行した。	こがねい市民活動団体リストの改訂版を作成し、ネットワークづくりで寄与した。	A		A		A			
021	7		021-7	こがねい市民講師登録・紹介制度	市民の生涯学習活動を支援するため、市民講師を登録し、サークルや団体等の求めに応じて援助者として活動する制度である。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		講師派遣依頼がない	－	C		B		講師派遣依頼がない	－（評価になじまない）		
021	8		021-8	社会教育関係団体	社会教育関係団体の登録充実と支援を行うとともに、市民への周知や環境を含めた学習機会への活用を図る。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		登録数 83	-	A		A		A			
021	9		021-9	環境学習の推進（講師等の紹介）	学校の環境学習活動への派遣要請に対して講師等を紹介する。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都等が紹介する講師に係る情報提供	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A		A		A			
021	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、市民協働体制の強化を図る。）	-	-	-	-	-	-	-	-												

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」※「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式41）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりで達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No. 施策等: 事業等: 固有No. 事業等の名称 事業等の概要 所管課名 中期の視点 中期の視点 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 令和6年度実施 令和6年度実施状況 当該事業の数値実績（効果や課題） 令和7年度の実 令和7年度の実 計画に対する評価 計画に対する評価 実績（効果）に対する評価 実績（効果）に 備考																								
022 場・人材・情報のネットワーク化																								
022	1	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年3月に小金井 宮地楽器ホール等で環境フォーラムを開催し、延べ1,373人の方が参加された。		A		A				
022	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、場・人材・情報のネットワーク化を図る。）	-	-	-	-	-	-	-	-											
030 基盤3 情報発信・共有																								
031 効果的な情報発信																								
031	1		031-1	環境基本計画の普及啓発	環境基本計画の周知啓発を行う（市ホームページ、公共施設、環境フォーラム等のイベント等）。また、市民団体・教育機関等とのネットワークづくりを進め、それらを介した新たな発信方法を追求する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境市民会議へ周知を行った。市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで概要版を配布した。	SNS等での発信を検討する。	A		A				
031	2	重複	031-2	『小金井環境行動指針』の活用	『小金井市環境行動指針』を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手に取ってもらえる環境を整備できた。	A		A				
031	3	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		R6年度実績 211件（電動式200件、手動式1件、コンポスト10件）	昨年度とほぼ横ばいの実績であった。昨年は0件であった事業系生ごみ処理機の申請が今年度1件あり。	A		A				
031	4	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	健康課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		数値実績なし	小金井産の野菜を使用したレシピを季節に合わせて掲載している。	A		A		健康課のSNSにも画像で転載している。		
031	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて効果的な情報発信を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-											
032 環境情報の共有																								
032	1	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和5年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施した。	A		A				
032	-		-	-	（基本目標1～7の各取組について環境情報の共有を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-											
100 みどりを守り、つくり、育てる																								
110 みどりの保全																								
111 まちなかのみどりの保全																								
111	1		111-1	環境緑地・公共緑地の保全	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、環境保全緑地（環境緑地・公共緑地）の指定・保全を行う。また、必要に応じて指定要件の見直しを行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度に見直した新規申請時期の緩和について、市報及びホームページにて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A		A				
111	2		111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度に見直した新規申請時期の緩和について、市報及びホームページにて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A		A				

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価にじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施	令和7年度の実施	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
111	3	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請に係る多い問合せ及び様式について、ホームページにて掲載内容を更新かつアップロードできるようにした。	ホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A		A		A		
111	4		111-4	環境配慮基準の見直し（樹木）	環境配慮基準の「1.緑を守り育てる」に関する規定を見直し、宅地開発時の既存樹木の保全割合を検討する。	環境政策課	検討	運用	検討	検討	継続	継続	継続	A		緑化指導基準の運用していく中で検討した。	既存樹木の保全は所有者及び開発事業者の負担を強いるため、慎重に検討する必要がある。	A		B		B		
111	5	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■体験農園 農園数：1農園 区画数：10区画 区画面積：300㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を実施し、農業者と市民との交流を深めた。	A		A		A		
111	6	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■市民農園【市営】 農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】 農園数：2農園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和6年4月1日から1園開園した。都市農地の貸借の内滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A		A		A		
111	7		111-7	みどりの実態に関する情報共有	事業者・市民にみどりの実態に関する情報を共有し、保有者に対して保全を働きかける。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		生産緑地の買い取り申請時等に保有者にみどりの保全について協力をお願いしている。	新たな支援制度などを関係部署と連携しながら、情報提供を行った。	A		A		A		
112 農地の保全・活用																								
112	1		112-1	生産緑地地区の追加指定	生産緑地法等の改正に伴う生産緑地地区の指定基準緩和を受けて、農業者に積極的に周知を行い、追加指定による生産緑地地区の増加を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		通年で追加指定に係る申請を受けていることを周知した。	生産緑地の追加指定が4件あった。	A		A		A		
112	2	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■体験農園 農園数：1農園 区画数：10区画 区画面積：300㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を実施し、農業者と市民との交流を深めた。	A		A		A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」：「継続」：「検討」：「完了」※市内農地マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No.	施策等	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実	令和7年度の実	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考		
112	3	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■市民農園 【市営】 農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】 農園数：2農園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和6年4月1日から1園開園した。都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A		A		A			
112	4		112-4	高齢者農園	高齢者農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■高齢者農園 農園数：2農園 区画数：95区画 面積：1,371.83㎡	高齢者農園の利用希望者は多く後期高齢者の利用も43.2%と全体の約4割を占めており、介護予防に繋がることと期待されるなど高齢者農園がコミュニティの形成と健康促進の役割を果たしていると評価できる。	A		A		A			
112	5		112-5	都市農地保全推進自治体協議会	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進自治体協議会にて、都市農地の保全・活用の調査・研究を推進する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	他のイベントと重なったため不参加となった。	都市農地保全自治体フォーラムについては、令和5年度から実施しないこととなったが、自治体間が連携しながら都市農地の保全・活用の調査・研究を推進するための勉強会（都市農業サロンの開催や全国都市農業フェアの開催）や自治体の令和7年度開園に向けたイベントが開催されたが、不参加となった。	A		B	他のイベントと重なったため不参加となった。	B	農業に関するイベントも増えている中で、人員や日程の調整等が必要。			
112	6		112-6	援農ボランティア	市内農家の農作業を手伝う「援農ボランティア」を養成する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■援農ボランティア事業 参加者数：5人 認定者数：5人	援農ボランティア事業では、市内の園場で1人の実習生が草取り、肥料の運搬、収穫、出荷作業などの作業を農業者から直接指導を受け、1人の実習生が認定を受けた。	A		A		A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施予定	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
112	7		112-7	苗木無料配布	営農を支援するため、市内農家が生産する苗木の無料配布事業を実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			■春の苗木：400本 ■秋の苗木：400本	小倉井市民を対象に、抽選による苗木の無料配布を実施した。市内の緑化推進と苗木の苗木生産振興に寄与した。	A		A		A		
112	8		112-8	営農困難な都市農地の賃借を推進	「都市農地の賃借の円滑化に関する法律」の施行により、意欲ある農業者や新規就業者、また、市民農園を開設したいと考える民間企業等が生産緑地を借りやすくなったことから、営農困難な生産緑地の賃借を推進し、農地の活用を図る。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■都市農地の賃借の円滑化に関する法律による農地の賃借：4件（10,771.93㎡）	農地の賃借制度について、適宜周知を行ってきた結果、賃借による営農困難農地の解消に繋がった。更に、営農困難農地の解消に向け、周知、相談を継続していく。	A		A		A		
112	9		112-9	学童収穫体験事業	市内小学校を対象とした収穫体験事業への支援を行い、土に触れる喜びと作物収穫の感動と農家への理解を促進する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■学童収穫体験事業 参加児童数：1,693人	土にふれあい、収穫の喜び、地場産野菜を味わい、身近な農への関心を高める機会とした。	A		A		A		
112	10		112-10	イベントを通じた交流機会の拡大	農業祭等のイベントを通じた魅力ある交流を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■農業祭品評会 出展数 893点 ■絵画コンクール 申込者数 224人 ■道草市 開催回数：5回 後援回数：5回 ■親子収穫体験 開催：2回 参加者：19組	農・商工業・観光一体となったイベントにない産業まつりを開催した。 農業部門では、農家の販売ブースの設置、生鮮の野菜の配布、品評会、農業絵画コンクールを実施した。 道草市では、商業・農業・介護・子育ての関係者が、地域コミュニティや賑わいを招く目的でイベントを開催し、採れたての地場産野菜等の販売や子育て体験等を通じて市民との交流や地場産の野菜等のアピールにつながった。 親子収穫体験では、キャベツとブロッコリーの収穫体験を実施した。農業と食育への関心と地産地消へのアピールにつながった。	A		A		A		
112	11		112-11	地場産野菜を活用した料理講習会	一日生活教室を通じ、地場野菜を使った料理講習会を実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■料理講習会 開催回数：1回 参加人数：16人	地場産の野菜を使った料理教室を開催した。	A		A		A		
112	12		112-12	学校給食地場産野菜利用促進	学校給食の地場野菜の導入率を高めるため、栄養士と農家の打合せ等の調整について協力する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■給食提供農家 園場見学：1農園	学校給食への地場産野菜の積極的な導入を図るため、市内公立小・中学校の栄養士向けに園場見学を実施した。給食に納品されている野菜等の園場見学や生産農家との意見交換等を通じて地場産野菜の利用促進への理解を深めた。	A		A		A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了							
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No.	施策等	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施	令和7年度の実	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考		
112	13		112-13	環境保全型農業の推進	東京都工農産物認証制度を利用し、減農薬と減化学肥料に取り組む。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			■エコ認証 0件 窓口にチラシを配架。認証を受けた農家はなかった。		A	B		B	認証を受けた農家がいなかった。 （次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）			
120 みどりの創出																									
121 公園・緑地の創出・活用																									
121	1		121-1	公園等の適切な維持管理	児童遊園・子供広場・緑地・都市公園の維持管理を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		多様化する住民要望に応えるために、令和6年度から指定管理者制度を導入し、経験やノウハウを活用し、適切な維持管理を開始した。		A	A		A				
121	2		121-2	新たな公園等の整備	優先的に整備が必要な小長久保公園、三奈公園、梶野公園及び（仮称）東小金井駅土地区画整理事業1号公園を整備する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		三奈公園及び梶野公園にて、インクルーシブデザインに配慮した遊び場、菜園及び子どもの居場所の整備に向けた設計を行う。		A	A		A				
121	3	重複	121-3	指定管理者制度等の民間活力導入	都市公園の魅力向上のため、指定管理制度等の民間活力の導入を検討する。	環境政策課	検討	実施	検討	検討	検討	継続	継続	A		市内事業者や環境美化サポーター、障害者団体等各関係団体と協議の場を設け、意見交換・情報交換を重ねた。		A	A		A				
121	4		121-4	低未利用公園等の整理	利用者数の少ない公園等について土地利用転換を含めた有効な利活用について検討をする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		調整のうえ、桜町こぶし公園を防災倉庫用地に用途変更した。		A	A		A				
121	5	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小・中学校（6校）の運動場芝生を活かした教育活動に貢献している。		A	A		A				
121	6	重複	312-4	学校ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理		A	A		A				
121	7		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A		小金井市環境配慮指針に従い、敷地面積から建物面積を除いた面積の20%以上の緑化を設計に反映。		A	A		A		旧中間処理場跡地に整備する資源物処理施設は、令和7年3月21日に竣工し、緑地帯を整備は完成した。今後も緑地帯の整備は継続する。		
121	7		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課								A		-	推進中		A		A				
122 みどりのまちなみの創出																									
122	1		122-1	環境配慮基準の見直し（屋上緑化・壁面緑化等）	環境配慮基準の「1.緑を守り育てる」に関する規定を見直し、屋上緑化、壁面緑化も緑化面積に含めることを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境配慮基準の見直しについて検討した。		A	A		A				
122	2		122-2	緑化指導に関する規定の制定	新たに緑化指導に関する規定を制定し、指定開発事業に該当しない規模の建築行為に対しても緑化指導を行う。	環境政策課	制定・運用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		緑化等指導基準を策定し、令和4年度から適用を開始し周知を行った。		A	A		A				

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」「検討」「完了」として内容基盤でマネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…計画どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施予定	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
122	3	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請に係る多い問合せ及び様式について、ホームページにて掲載内容を更新かつアップロードできるようにした。	ホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A		A		A			
122	4		122-4	緑化の手引きの作成	事業者・市民に向けた「緑化の手引き」を作成し、緑化手法や維持管理に関する技術等の情報提供を行う。	環境政策課	作成・運用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		市報・ホームページ、市役所窓口にて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A		A		A			
122	5		122-5	街路樹の管理	都市計画道路の整備に当たっては、歩道に植樹帯等を設け、街路樹を植栽する。景観形成機能や生き物の生息空間等の創出機能にも配慮し、適切な管理を進める。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市道第12号線の植栽帯にツツジを640株植補した。	－	A		A		A			
130 みどりをはくむ市民活動の促進																									
131 みどりを知り、親しむ機会の創出																									
131	1		131-1	みどりに関する情報発信	みどりの基本計画、みどりの実態調査、ガーデニングや緑化の事例、支援制度、ボランティア活動等、みどりに関する情報発信を充実する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		花壇ボランティアの協力により公園の花壇植え替えイベントを5回及びボランティア養成講座を、市報等周知のうえ実施した。	支援制度の周知により、新たなメンバーの加入や1団体の環境美化サポーターの登録があった。	A		A		A			
131	2	重複	131-2	環境市民会議によるみどり調査の支援	環境市民会議によるみどり調査に対する支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		みどりの基本計画や調査も予定しているため、調査を見送った。	環境市民会議のみどり調査メンバーの高齢化により調査が難しい面もあるため、支援内容を協議する必要がある。	A		C		－（評価になじまない）	みどりの基本計画や調査も予定しているため、調査を見送り、支援については評価できない。		
131	3		131-3	環境学習の充実	小中学生や子育て世代などを対象とした環境学習の充実を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C	令和6年度より廃止		－	C	令和6年度より廃止	－（その他）	同事業廃止のため評価不可				

体系No.				事業や取組の概要			実施計画			実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	備考			
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了									
XYZ	N		XYZ-N																								
体系No 施策等 事業等 固有No 事業等の名称 事業等の概要 所管課名 中期的視点 中期的視点 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 令和6年度実施 令和6年度実施状況 当該事業の数値実績（効果や課題） 令和7年度の実 令和7年度の実 計画に対する評価 計画に対する評価 実績（効果）に対する評価 実績（効果）に対する評価 備考																											
132 協働による活動の推進																											
132	1	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に行い、新規ボランティアとサポーター同士の機会のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A		A		A					
132	2		132-2	花壇ボランティア・剪定ボランティアへの支援	花壇ボランティアや剪定ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。また、スキルアップの為、講座形式でみどりの知識や管理など技術を習得できる仕組みを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		技術向上を図るために、専門家による公園花壇でのボランティア養成講座を実施した。	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A		A		A					
132	3		132-3	公園サポーター会議設置の検討	梶野公園サポーター会議をモデルに、地域住民が管理するモデル公園の選定。公園サポーター会議の設置を検討する。	環境政策課	検討	拡大	検討	検討	継続	継続	継続	A		三葉公園の整備工事に伴って、自治会と複数回の協議を重ねること、公園の課題共有及び解決策を共有した。	令和6年度以降、子どもの遊び場整備事業を行うことになったため、継続して自治会や関係者、周辺住民等と信頼を構築しながら整備事業を進めた。	A		A		A					
132	4		132-4	気軽に参加できるボランティア制度の検討	子育て世代や子どもが空いた時間に気軽に参加できるボランティア制度の導入を検討する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		公園花壇ボランティアの活動と協働し、親子で参加できるイベントを5回実施した。	日頃利用している公園で花の植え替え体験を実施したことで、公園の愛着を高めることができ、公園を大切に利用しようとする気持ちの醸成することができた。	A		A		A					
132	5		132-5	みどりに関する新たな購入確保	みどりに関する募金等、新たな購入確保につながる仕組みづくりを検討する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		各イベント実施時に合わせてみどりの募金を呼び掛けた。	今後も新たな購入の確保に向けた検討をする。	A		A		A					
132	6		132-6	花壇ボランティアによる屋上庭園の運営	（仮称）新福祉会館の屋上庭園の一部において、花壇ボランティアによる運営を検討する。	地域福祉課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	D	実施しないため	－	－	－	－	－	－	－（その他）	－				
200 地下水・湧水・河川の水循環を回復する																											
210 地下水・湧水の保全																											
211 地下水・湧水等のモニタリング																											
211	1		211-1	水質監視測定	市内井戸の水質測定を行い、地下水保全会議等を通じて結果を分析・公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A		A		A					
211	2	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A		A		A					
211	3		211-3	湧水測定見学等	湧水測定の見学会等を行う。	環境政策課	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	D	実施検討中	-	-	A		C	検討中（未実施）のため。	－（その他）	未実施				
211	4		211-4	自動記録計設置による地下水位測定	市の管理する井戸または所有者に許可を得た井戸に自動記録計を設置し、連続して水位測定を行う。	環境政策課	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	D	実施検討中	-	-	A		C	検討中（未実施）のため。	－（その他）	未実施				
212 住宅地等における雨水浸透の促進																											
212	1	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請件数3件、設置浸透ます8個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A		A		A					

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了							
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施	令和7年度の実施	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考		
212	2		212-2	雨水浸透ます設置工事	道路上に雨水浸透ますを設置することにより、下水管きよへの雨水流入を抑制する。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			浸透ます34基設置	下水道管に流入する雨水量の削減	A		A		A			
212	3		212-3	歩道における透水性舗装	歩道舗装を透水性舗装にすることで、道路雨水の浸透を促進する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市道第1号線の歩道舗装2.3㎡を透水性アスファルト舗装に変更した。	－	A		A		A			
213 開発事業等における地下水への影響の未然防止																									
213	1		213-1	環境配慮計画書	開発工事事業者・市民等に地下水保全条例の周知を継続する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		開発工事事業者から事前相談があった際には、条例を周知した。	条例を周知することができた。	A		A		A			
213	2		213-2	地下水保全会議の開催	開発事業等による地下水への影響について、ボーリング調査データ等から状況を把握するとともに、提出された書類に基づき地下水保全会議の意見を聴き、必要に応じて地下水への配慮を求める通知を行うなどして影響の未然防止に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		地下水影響工事の届出 0件	－	A		A		－（評価になじまない）	該当がある場合のみ、対応する必要があるため。		
214 崖線をはじめの浸水源となるみどりの保全																									
214	1		214-1	国分寺崖線のみどりの保全	国分寺崖線斜面及び周辺部のみどりを保全緑地制度等で守る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		保全緑地制度を活用し、民有地の国分寺崖線上のみどりを環境緑地として41,101.83㎡を保全している。	引き続きみどりの軸として保全に努める。	A		A		A			
214	2		214-2	滄浪泉園でのイベント開催	特別緑地保全地区に指定されている滄浪泉園で、市民がみどりの大切さを理解するきっかけとなるようイベント開催等を通じて周知に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		近隣市との共同で行われるスタンプラリーへ参加したり、市内中学生が作成した園内水等箇の標識等を設置し、また指定管理者による各種イベントを実施し、ホームページ等で周知することで、当該緑地の更なる周知を行った。	滄浪泉園緑地を知ってもらう機会とし、また、来園いただく機会となった。	A		A		A			
214	3	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	－	A		A		－（評価になじまない）			
220 河川環境の保全																									
221 水質汚濁の発生防止																									
221	1		221-1	下水道法による水質規制	法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施する。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施。	法等に基づく排水の監視及び立入検査では、問題ない。	A		A		A			
221	2	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請件数3件、設置浸透ます8個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A		A		A			
221	3	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		「野川環境フィールドワーク」内の散策清掃ワークショップで実施した。	32名が参加し、外来植物を学びながら駆除をすることができた。	A		A		A			
222 水辺に親しめる機会の充実																									

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」※「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了							
XYZ	N			XYZ-N																					
体系No.	施策等毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施	令和7年度の実施	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考		
222	1	重複	011-3	グリーン野川作戦	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		10月6日に「野川環境フィールドワーク」として実施し、延べ78人の方が参加された。			A		A				
223 流域単位での他自治体等との連携																									
223	1			223-1	野川流域連絡会への参加	野川流域連絡会（事務局：東京都建設局）へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川流域の環境に係る啓発や整備等に関する協議を行った。	-		A		A		－（評価になじまない）		
223	2			223-2	野川流域環境保全協議会への参加	6市区（本市、国分寺市、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区）で構成される野川流域環境保全協議会へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		情報収集を行った。	-		A		A		－（評価になじまない）		
223	3			223-3	多摩川流域協議会への参加	3都県30市区町村で構成される多摩川流域協議会へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		情報収集を行った。	-		A		A		－（評価になじまない）		
230 水資源の有効利用																									
231 日常生活における雨水利用や節水の推進																									
231	1	重複		231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		9基に補助金を交付した。	-		A		A		A		
231	2			231-2	節水行動の啓発	環境行動指針の啓発などを通じ節水意識の向上と実践に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境行動指針の公開、配布及び雨水貯留施設の設置促進により節水意識の向上に努めた。	-		A		A		－（その他）	市民の意識調査の実施は難しいため。	
231	3			231-3	雨水利用に関する情報発信	雨水利用に関する関連情報をホームページに掲載する。	環境政策課	継続	継続	検討	継続	継続	継続	A		引き続き、パンフレット「雨水活用のおすすめ」をホームページに掲載している。 また、雨水タンクの設置費補助金をHPだけではなく、市公式LINEなどでも周知し、雨水利用に対して情報発信を行った。	-		A		A		－（その他）	市民の意識調査の実施は難しいため。	
231	4			231-4	雨水利用に関する外部との情報交流	雨水利用の現状やトレンドを把握するため、外部との情報交流を行う。	環境政策課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	A		情報収集を行った。			A		A		－（評価になじまない）		
232 災害時における水資源の活用																									
232	1	重複		231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		9基に補助金を交付した。	-		A		A		A		
232	2			232-2	非常災害用井戸の管理	非常災害用井戸を適正に設置・管理する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年3月に保守点検を実施	水質検査の結果、国で定めた水質基準に適合していることを確認。			A		A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		令和7年度の実施	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N																						（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
体系No	施策等	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施	令和7年度の実施	令和7年度の実施	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
232	3		232-3	震災対策用井戸の管理	震災対策用井戸を適正に管理する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年2月に水質検査（35件）を実施				A			A		
300 都市の生物多様性を守り親しむ																									
310 生物多様性の保全																									
311 生物多様性に関する実施の把握																									
311	1	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。				A			A		
311	2	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		令和6年度実施の野川環境フィールドワーク実施状況をホームページに掲載した。	－	A			A			A	
312 生き物の生態・生育環境の保全・創出																									
312	1		312-1	公園等における樹木の選定	「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」に則り、公園内の樹木を新たに植樹する際には在来種から選定し、生物多様性の確保のため、実のなる樹木を植樹していく。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		在来種であるサツキ等を4公園で合計36株植栽した。				A			A		
312	2	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	－	A			A			－（評価になじまない）	
312	3		312-3	緑化指導における在来種導入	指定開発事業に対する緑化指導の際に、都策定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」を参考にし、在来種の導入など生態系に配慮した緑化を働きかける。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		緑化指導に際し、都策定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」や「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」にある具体的な在来種を中心とした植栽計画が立てられた。ナラ枯れとなる樹種は避けた計画にすることができた。				A			A		
312	4	重複	312-4	学校ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理				A			A		
313 外来種対策の推進																									
313	1		313-1	アライグマ・ハクビシンの防除	アライグマ・ハクビシンの生態や、駆除の必要性を周知、また、捕獲し生息範囲の拡大を防ぐ。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報・ホームページでの周知を行った。捕獲頭数：10頭（アライグマ5頭・ハクビシン5頭）				A			A		
313	2		313-2	外来植物駆除	市民参加による外来植物駆除（グリーン野川作戦等）を検討・実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		「野川環境フィールドワーク」内の散策清掃ワークショップで実施した。				A			A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」：「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果がなかった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
XYZ	N		XYZ-N			前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）							
体系No.	施策毎	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実	令和7年度の実	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する	備考	
313	3		313-3	生物多様性の普及啓発	外来種についての情報を市ホームページで発信する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		定期的に外来種についてや関連情報をHPに掲載した。	市ホームページを閲覧した市民や学校から、問い合わせや講演についての依頼があり、生物多様性の普及啓発に繋がった。	A		A		A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）		
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）							
XYZ	N		XYZ-N																							
体系No. 施策等 事業等 固有No. 事業等の名称 事業等の概要 所管課名 中期の視点 中期の視点 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 令和6年度実施 令和6年度実施状況 当該事業の数値実績（効果や課題） 令和7年度の実 令和7年度の実 計画に対する評価 計画に対する評価 実績（効果）に対する評価 実績（効果）に対する評価 備考																										
320_自然とのふれあいの推進																										
321_自然について知る機会の創出																										
321	1	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		令和6年度実施の野川環境フィールドワーク実施状況をホームページに掲載した。	－	A		A		A		A		
321	2		321-2	緑の環境教育	市内の公立小学校と連携し自然に接しながら緑の大切さを学ぶ環境教育を推進する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C	令和6年度より廃止	-	-	C	令和6年度より廃止	C	同事業廃止のため評価不可	－（その他）	同事業廃止のため評価不可			
322_自然と親しめる機会の創出																										
322	1	重複	011-3	グリーン野川作戦	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		10月6日に「野川環境フィールドワーク」として実施し、延べ78人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の採集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていただけるイベントとなった。	A		A		A				
322	2	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■市民農園【市営】農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】農園数：2農園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和6年4月1日から1園開園した。都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A		A		A				
322	3	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座等を開催する。	公民館	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		0	参加者の環境問題への意識を高めることができた。	A		A		A				
322	4	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代掻きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		年間で8回行われた活動を広報掲載等の支援を行った。	小金井市環境市民会議との共催事業であり、稲作体験等を通して市民に生物多様性や伝統文化について理解を深めていただいた。	A		A		A				
322	5		322-5	はけの森調査隊	はけや野川の自然観察会を実施している、はけの森調査隊の活動に対し、市報での周知等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		はけの森調査隊の、3回実施の事業について後援を行い、市報にて周知した。	身近なみどりを大切にする気持ちの醸成につながった。	A		A		A				
322	6		322-6	市民団体等が行う自然と親しめるイベントへの協力	市民団体等が行う自然と親しめるイベント（自然観察会、生き物調査等）への支援・協力を行う。	環境政策課	準備（市民団体との関係・実績づくり等）	実施	検討	検討	継続	継続	継続	A		はけの森調査隊の、3回実施の事業について後援を行い、市報にて周知した。	身近なみどりを大切にする気持ちの醸成につながった。	A		A		A				

体系No.				事業や取組の概要			実施計画			実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…計画どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了							
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No. 施策等毎 事業等毎 固有No. 事業等の名称 事業等の概要 所管課名 中期の視点、中期の視点 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 令和6年度実施 令和6年度実施状況 当該事業の数値実績（効果や課題） 令和7年度の実 令和7年度の実 計画に対する評価 計画に対する評価 実績（効果）に対する評価 実績（効果）に対する評価 備考																									
322	7		322-7	自然観察会等の情報発信	市民団体主催の自然観察会や生き物調査等の開催情報を市ホームページやSNSで発信する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報に掲載したり、公民館などにチラシを配布したりした。	-	A		A		-（その他）		該当があった場合のみ実施するものであるため。	
400_安全・安心で健康に暮らせる生活環境を守る																									
410_大気汚染や騒音などの公害発生源対策																									
411_事業活動等における公害の発生防止																									
411	1		411-1	公害関係法令に基づく規制・指導	大気汚染防止法、騒音規制法、東京都環境確保条例など公害関係法令等に基づく規制や指導を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令等に基づき対応した。	公害のない環境の創出	A		A		A			
411	2		411-2	小口事業資金融資あっせん制度における特別整備資金	小金井市小口事業資金融資あっせん制度により、特別設備資金のあっせんを行い、特定金融機関から融資を受けた際の利子及び保証料の一部を補助する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		0件	当該融資メニューの周知を図る。	B		B		B		引き続き、ホームページやパンフレット、市報などで、当該融資の周知を行い、申込み件数を増やせるよう努める。	
411	3		411-3	アスベスト排出等作業実施届出受付	アスベスト排出等作業実施届出受付（2000㎡以下）と現場立会いをする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令等に基づき対応した。	大気汚染防止法届出：3件	A		A		A			
411	4		411-4	土壌・地下水汚染対策の啓発	土壌・地下水汚染対策について、事業所等に啓発する。ホームページやパンフレット等による情報提供を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		パンフレット等による周知	-	A		A		A			
412_自動車由来の騒音や排気ガス等の低減																									
412	1	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証も行う。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		・地域公共交通活性化協議会4回開催 ・交通ネットワーク再編事業部会2回開催	・地域公共交通計画を策定（R7～R14年度） ・路線バスとCoCoバスを合わせた交通ネットワーク再編事業に着手した	A		A		A			
412	2	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たな自転車駐車場整備はなかった	民間から土地を借用して運営しているものが多いことから、恒久的に利用できる土地の確保が必要。	A		B		B		市営自転車駐車場は、民間から土地を賃貸借し運営しているものが多く恒久的に利用していくことが難しい。恒久的に利用できる高架下などのへの整備を進めていきたい。	駅周辺で高架下を利用できる場所は限られてきていることから、今後、土地の購入等の対応も考えていく必要がある
412	3		412-3	グリーン購入の推進	公用車の買い換えの際は、グリーン購入ガイドラインに基づき環境負荷の少ない車両を導入する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		車両1台（ガソリン車）を購入し、車両2台のリースを開始した。	車両が古くなったため購入、リースを行った。	A		B		B		用途、走行距離、現状の寸倉での設備状況等を踏まえて判断した。	用途、走行距離、現状の寸倉での設備状況等を踏まえて判断した。
413_農業・化学物質・その他の環境汚染物質対策																									
413	1		413-1	除草剤や殺虫剤の適正使用の周知	広報や市ホームページを通じて、除草剤や殺虫剤の適正使用を周知する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報や市ホームページによる周知	-	A		A		A			
413	2		413-2	残留農薬検査	残留農薬検査に対し補助を行い、低農薬で安全な作物の生産を推奨する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■残留農薬検査件数：2件	ワリ科の作物の土壌検査の補助を実施した。	A		A		A			
413	3		413-3	化学物質に関する情報提供	PRTR制度（法）や化学物質適正管理制度（都条例）に基づき、化学物質取扱い事業所に対し使用量報告を求める。また、化学物質の環境リスクに関する情報をホームページ等により提供する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令等に基づき対応した。	都条例に基づく届出：12件 市条例に基づく届出：6件	A		A		A			
413	4		413-4	シックハウス状況調査	公共施設（市立保育園）における机・椅子・コンベヤ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		冷暖房機、掃除機、冷蔵庫等の購入	購入の際、シックハウスの原因となる「ホルムアルデヒド」をはじめとした有害物質をまわった使用していないか、F☆☆☆☆等級の資材を使用した商品であることを確認した。	A				A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考							
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式41）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）							
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）												
XYZ	N		XYZ-N																												
体系No.	施策毎	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施予定	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考								
413	5		413-5	シックハウス状況調査	市立小・中学校における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		教室等空気環境衛生検査測定を小学校2校にて実施した。	教室内の環境が基準値内であることが確認できた。	A		A		A									
413	6		413-6	空間放射線量の測定	認可保育園、幼稚園等における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		空間放射線量の測定	問題のある線量は測定されず、測定結果を市ホームページにて公表。	A		A		A									
413	7		413-7	空間放射線量の測定	児童館・学童保育所における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	児童青少年課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年9月に児童館・学童保育所を対象に実施。	A	年1回でも放射能線量を確認し、安全であることを知るだけでも安心して児童館・学童保育所を利用できる。		A		A									
413	8		413-8	空間放射線量の測定	市立小・中学校における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		8月に小・中学校（全14校）の測定実施及び結果公表を行った。	安心安全な学校環境の整備のための状況把握。	A		A		A									
413	9		413-9	給食用食材の放射能測定	給食用食材に含まれる放射性物質の測定を行い、測定結果を市ホームページで公表する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小・中学校280件、保育園322件の検査結果を市ホームページより公表した。	市ホームページでの測定結果更新作業については、保育課及び学務課が対応し、広く周知することができた。	A		A		A									
413	10		413-10	食品の放射能測定	希望する市民に対し、食品の放射能測定を、小金井市放射能測定器運営連絡協議会との協働で実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		測定件数45件（一般市民）	測定を実施するにあたり協議会の人員的体制が取りづらいう状況が継続している。	A		A		A									
413	11		413-11	放射線測定器の貸出	空間放射線量を測るための簡易測定器を希望する市民へ貸し出す。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		希望が無かった。	令和6年度：0件	A		A		A									
420 環境のモニタリングやコミュニケーション																															
421 大気汚染や騒音などの継続的な環境モニタリングと情報発信																															
421	1		421-1	ダイオキシン類に係る大気環境調査	大気中のダイオキシン類の調査を毎年実施し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		夏季・冬季にそれぞれ2か所で測定。	いずれも環境基準値以下。	A		A		A									
421	2		421-2	住宅や沿道における二酸化窒素の測定	住宅地や交差点において、自動車排気ガスに由来する二酸化窒素濃度を測定（簡易測定法）し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市内50か所で測定。	いずれも環境基準値以下。	A		A		A									
421	3		421-3	大気中の浮遊粒子状物質の測定	大気中の浮遊粒子状物質の調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市内2か所で測定。	いずれも環境基準値以下。	A		A		A									
421	4		421-4	沿道における騒音・振動調査	市内の沿道において、騒音・振動調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		6本の都道で騒音及び振動を測定。	いずれも要請限度以下。	A		A		A									
421	5	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和5年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施した。	A		A		A									
422 安全・安心のための話し合いやルールづくり																															
422	1		422-1	苦情処理・相談への対応能力開発	国・都等の研修制度を利用し、苦情処理・相談に対する対応方法等の向上を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都が実施する研修等に参加した。	—	A		A		A									
500 美しく住み心地のよいまちを守る																															
510 景観の保全・活用																															
511 景観保全・創出に係る取組の実施																															
511	1		511-1	地区まちづくりの推進	「小金井市まちづくり条例」に規定される、地区まちづくり計画及び協議会、テーマ型まちづくり、地区計画、建築協定等のしくみが活用されるよう、周知や各種支援を行う。	まちづくり推進課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		武蔵小金井駅北口地区地区計画を都市計画決定した	まちづくりの推進	A		A		A									
512 景観資源を活用する取組の充実																															
512	1		512-1	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」を開催する。委員会の意見を踏まえ、玉川上水及びその周辺環境を保全する。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		3回実施	史跡・名勝に配慮した柵野柵補修工事を検討した	A		A		A									

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」※「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…計画どおりの効果がなかった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了						
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施状況	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
512	2		512-2	玉川上水・小金井桜整備活用事業（補足：東京都と連携）	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用計画」、「史跡玉川上水整備活用計画」（東京都）に基づき、サクラ並木の再生を進める。また、歴史的遺産として、まちの魅力向上に向け、積極的に市内外にPRする。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	名勝指定100周年記念を市民、事業者等と連携して実施	ヤマザクラ17本補植	小金井桜をきっかけに市の魅力を発信できた		A		A			
512	3		512-3	まちなか観光案内	市民ボランティアガイドの協力を得て行うまちなか観光案内、市内の観光スポットをテーマ別に結んだ「小金井まち歩きマップ」の作成等、小金井観光まちおこし協会が行う取組を支援する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		寄集ツアー8回 リエストツアー11回	寄集ツアーの回数を前年度よりも増やし、参加人数も増加した。		A		A			
512	4		512-4	重要な文化遺産の保護・活用	重要な文化遺産は、文化財に指定し保護・活用を図る。また、情報発信として文化財センターの他、まちかど歴史ミュージアム事業を展開する。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	小平市と連携した史跡めぐりを実施	旧中村研一部の活用	新たな活用方法を見出した		A		A			
520_美しいまちなみの維持																								
521_美しいまちなみの維持																								
521	1		521-1	定期的なパトロールの実施等	定期的なパトロールを実施し、不法投棄厳禁・ポイ捨て禁止等の啓発看板を設置する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		不法投棄やポイ捨ての多い箇所へのパトロールを実施し、市民に対しては各種啓発看板を配布した。路上禁煙地区については、清掃活動の実施及び路面標示の設置を行った。	パトロールや啓発活動で防止対策を取っているが、不法投棄やポイ捨ては個人のマナーに帰属するところが大きく、完全に撲滅することは困難である。		A		A			
521	2		521-2	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレットの作成し配布する。	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレットを作成し配布する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		違反処理による除却枚数：はり紙526枚、はり札等1枚、広告旗1本、立看板等9枚	－	A	A	A				
521	3	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は70名。市民との協働による環境美化活動を推進した。	－	A	A	A				
521	4	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に行之、新規ボランティアとサポーター同士の横のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。		A		A			
521	5		521-5	放置自転車撤去事業	公道にある放置自転車等を継続的に撤去し、駐車秩序の確立を図り、良好な都市環境を保持する。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		撤去台数：689台	撤去台数が減少してきており、良好な都市環境を保持できている。		A		A			
522_まちの魅力向上																								
522	1	重複	111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度に見直し新規申請時期の緩和について、市報及びホームページにて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。		A		A			
522	-		-	-	（上記を含め、基本目標2に示した緑化の推進に関する取組が該当する。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
600_3R推進で循環型のまちをつくる																								
610_発生抑制を最優先とした3Rの推進																								
611_日常生活における3Rの徹底																								
611	1	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	健康課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		数値実績なし	小金井産の野菜を使用したレシピを季節に合わせて掲載している。		A		A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」※「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了							
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施予定	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考		
611	2		611-2	生ごみ減量化処理機器購入費補助制度	生ごみ減量化処理機を購入する家庭、団体、事業所に対し、購入費の一部を補助する。市報、市ホームページ等により制度を広く周知する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		R6年度実績 211件（電動式200件、手動式1件、コンポスト10件）	昨年度とほぼ横ばいの実績であった。昨年は0件であった事業系生ごみ処理機の申請が今年度1件あり。		A		A				
611	3		611-3	不用品交換コーナー	家庭で使わなくなった物を譲りたい方、譲ってほしい方に利用してもらうための「不用品交換コーナー」（第二庁舎4階）の活用を市報等で周知する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		84件	申請件数は一定数あるものの、揭示期限を過ぎて成立に至らないケースも散見される。より効果的な周知方法の検討が課題。		A		A				
611	4		611-4	小金井市消費者団体連絡協議会の支援	小金井市消費者団体連絡協議会が行う（リサイクルバザー、おもちゃの病院、食器リサイクル）の取組を支援する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		食器回収…227.0kg 食器リユース市…81人 （R5年度をもっておもちゃの病院は脱退済み）	今後も継続して市報・HP等で広く周知していく。		A		A				
611	5		611-5	生ごみ堆肥化事業	大型の電動生ごみ処理機を市内小・中学校、保育園、集合住宅等に設置し、投入された生ごみを電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、民間堆肥化製造施設で完熟堆肥化する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市内小・中学校や集合住宅から生ごみ乾燥物の回収を行い、生ごみ乾燥物から製造された堆肥を38,288kg購入した。	市内小・中学校等から排出される可燃ごみの減量が図られている。		A		A				
611	6		611-6	剪定枝のチップ化（公園緑地）	公園緑地で剪定された枝葉をチップ化し、公園緑地の敷き均し材として使用する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	各公園での剪定や回収を行った枝葉について、梶野公園のヤードに集めた積量及び実施時期の調整により実施できなかった。	-	枝葉の処分について、量や時期について、次年度にはできるよう調整を行う。		A	C	各公園での剪定や回収を行った枝葉について、梶野公園のヤードに集めた積量及び実施時期の調整により実施できなかった。	B	量や時期によって実施できなかったため。	枝葉の処分について、量や時期について、次年度に実施できるよう調整を行う。	
611	7		611-7	緑のリサイクル（街路樹）	街路樹の管理委託業者に、発生した枝葉等のリサイクル（チップ化等）に努めるように指示する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		再利用できる施設に搬入するよう指導。 実績：147.4t	-	A		A		A			
611	8		611-8	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立小・中学校において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し畑や花壇に利用するとともに、燃やすごみを減量する。	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		剪定したものを枝木収集によりリサイクルしている。太枝については、請負業者がリサイクルしている。	剪定したもののリサイクル化を行い、ごみの減量につなげることができた。		A		A				
611	9		611-9	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立保育園において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し燃やすごみを減量する。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		廃棄物減量	落葉等を資源物回収に出し、堆肥化している。		A		A				
612_分別・減量を徹底する啓発活動の強化																									
612	1		612-1	清掃指導員（市職員）による分別指導	清掃指導員（市職員）による分別指導を強化する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市民からの要望等があった際に随時清掃指導員を派遣し、分別相談及び指導を行った。	現地で指導員が現物確認することにより、具体的に適切な指導ができている。		A		A				
612	2	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を年3回（7月、12月、3月）掲載し、各種イベント情報や正しい分別方法の周知、ごみ減量の啓発を図る。	転出入者が多いので、くみかえし周知や啓発を行うことが必要となる。		A		A				

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりで達成 C…実施したが計画に未達 D…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）						
XYZ	N		XYZ-N																						
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施状況	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価			備考
612	3		612-3	ごみ減量キャンペーン	ごみ減量キャンペーンとして、各種イベントや街頭での呼びかけ、啓発グッズ作成・配布等を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年3月24日、新しい資源物処理施設「メタウォーター・サステナブルパーク」が新しい竣工に伴うオープンフェスティバルを開催した。	小学生や保護者の参加者が200名を超える規模となった左記フェスティバルでは、クイズ大会やかるた、魚釣りゲームなどのアトラクションを実施し、子供たちへのごみ減量啓発キャンペーンを行った。	A		A		A			
612	4		612-4	ごみ・リサイクルカレンダーの発行	ごみ・リサイクルカレンダーを全戸配布する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		全11地区、合計82,000部作製し、3月に全戸配布した。	前年度の配布状況などから各地区の作成部数の見直しを行い、同数の部数を作製した。	A		A		A			
612	5	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知を行い、発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	昨年度比でごみ分別アプリダウンロード数が増加した。 R4年度DL数：3,992件 R5年度DL数：4,256件 R6年度DL数：4,675件	A		A		A			
612	6	重複	612-6	くるか出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		出張講座（7回）等で啓発活動を実施。	出張講座に際し使用する教材のデジタル化により、教育委員会への提供、HP掲載による周知効果の向上を図る。	A		A		A			
612	7		612-7	ごみ処理施設市民見学会	燃やすごみがどのように処理されているかを理解し、ごみ減量・分別の徹底を推進するため市民見学会を実施する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市民を対象とし、日野市所在の浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の見学を実施した。	今後も施設見学を継続し、市民への環境啓発を図る。	A		A		A			
612	8	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報特集号にて3回（7月、12月、3月）、新たなリサイクル推進協力店を随時掲載し、紹介した。	親しみやすくなるために認知度の高いごみ減量啓発キャラクターを使用することで、幅広い世代に周知が図られている。	A		A		A			
612	9		612-9	リユース食器の貸し出し	祭りやイベントで発生するごみ（使い捨て容器や割りばし）を減らすため、専門業者による洗浄により繰り返し使用できるリユース食器の貸し出しを行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		17件	徐々に社会全体が新型コロナウイルス蔓延前の状態に戻ってきており、イベント開催自体が増え、リユース食器の貸し出し件数も増加傾向にある。			A		A			
612	10		612-10	市内グリーン購入の推進	「小金井市グリーン購入方針」及び「同ガイドライン」に基づき市内のグリーン購入を行い、その実績をホームページで公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		実績をホームページに公表した。	市のグリーン購入の取組を周知できた。	A		A		A			
612	11		612-11	マイバッグキャンペーン	消費生活展や消費者ルームまつり等において、啓発用グッズを配布し、マイバッグ持参を奨励する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	キャンペーンにはしていないが、消費者ルームまつり等において、マイバッグ持参を奨励した。	－	－	B		A		A			
613 事業活動における3Rの推進																									

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄						計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込どおりの効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No	施策等毎	事業等毎	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定	令和7年度の実施予定	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
613	1		613-1	排出状況調査等	事業所の排出状況調査及び分別等の指導を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	東京都環境公社による「3 Rアドバイザー派遣事業」を活用し、「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書兼実績報告書」の中で浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設へ搬入している目付可燃ごみの排出量（特に紙ごみ）が増加している大規模事業所をピックアップし、立入検査を実施した。	大規模事業所「63 Rアドバイザー」の排出状況調査を実施し、そのうち「7件」について、立入検査を実施した。	3 Rアドバイザー事業を本年度実施した結果、市内大規模事業者に対して、廃食油の有価売却等の資源化ルート活用や備商品の取り扱いに係る助言等、資源化率の改善、ごみの減量及び資源化促進に資する提案を行うことができ、市単独の調査指導よりも効果的な事業とすることができた。		A					
613	2	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報特集号にて3回（7月、12月、3月）、新たなリサイクル推進協力店を随時掲載し、紹介した。	親しみやすくなるために認知度の高いごみ減量啓発キャラクターを使用することで、幅広い世代に周知が図られている。		A					
620_安全・安心・安定的な適正処理の推進																								
621_地域と連携した収集・運搬の推進																								
621	1	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知を行い、発生抑制を最優先とした3 R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	昨年度比でごみ分別アプリのダウンロード数が増加した。 R4年度DL数：3,992件 R5年度DL数：4,256件 R6年度DL数：4,675件		A						
621	2		621-2	環境負荷の少ないごみ収集車両への更新	ごみ収集車両の買い換えの際には、環境負荷の少ない車両を購入する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	直営の車両では導入実績は無いが、委託業者の車両については買い替えの際に環境負荷の少ない車両の導入を行っている。	ごみの収集についてはほとんどのごみが委託により収集を行っている。		A						
621	3		621-3	ふれあい収集事業	ごみ出しが困難な世帯（高齢者、障がいのある方等）を対象に、戸別訪問による家庭ごみの収集を行うとともに、安否確認も行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	申し込まれた世帯について、定期的なふれあい収集を行っている。	新型コロナウイルスの影響などにより対面の聞き取り調査があまり出来ず、きめ細やかな対応が難しくなっている。		A						
622_適切な処理・処分																								
622	1		622-1	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設（日野市内）において燃やすごみを焼却処理し、焼却灰はセメント原料としてリサイクル処理する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度実績焼却灰と搬入量 ●●●t	-	A			A			
622	2		622-2	中間処理施設の運営	中間処理施設において、不燃系ごみの資源化処理を進める。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度資源化量 ●●●●● ●●●kg	廃棄物処理による環境負荷を削減 小金井市野川クリーンセンター（不燃・粗大ごみ焼却・保管施設）が安定稼働するとともに、令和7年3月24日からメタウォーターシステム	A			A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」：「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）					
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No.	施策等	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実	令和7年度の実	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考
622	3		622-3	清掃関連施設整備事業	清掃関連施設整備基本計画に基づき、清掃関連施設（不燃・粗大系、プラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等の資源物系）の整備を進める。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		メタウォーターテナブルパークが新しい（小金井市資源物処理施設）が令和7年3月21日竣工、同月24日から本格稼働を開始した。	-	A		A		A		
623 廃棄物処理を支える体制の確立																								
623	-		-	-	（基本目標6の各取組のほか、関係機関や事業者と情報共有、事業コスト管理、環境資金の有効活用等を通じて支える体制の確立・継続を図る）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
700 エネルギーを賢く使い、低炭素なまちをつくる																								
710 家庭・事業所における低炭素化の推進																								
711 建物の低炭素化の促進																								
711	1	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		計262件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A		A		A		
711	3		711-3	省エネ改修工事に伴う固定資産税の減額	一定の要件を満たす省エネ改修工事（熱損失防止改修工事）を行った住宅について、申告により翌年度分の固定資産税（家屋分）を減額する。	資産税課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		4件	住宅における熱損失防止改修工事の促進	A		A		－（その他）	地方税法及び市税条例の規定による	
711	4		711-4	公共施設の低炭素化	公共施設の建設・改修工事において、省エネルギー性能の高い機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		-	検討中		A		A			
712 機器・設備の低炭素化の促進																								
712	1	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		計262件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A		A		A		
712	3		712-3	フロン類の回収・処理についての情報提供	市民・事業者に対し、フロン類が適正に回収・処理されるようチラシ、パンフレット等による情報提供を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		カウンターへのチラシの設置やHPでの情報提供をした。	－	A		A		A		
712	4		712-4	公共施設における環境配慮施設等の設置	公共施設の整備に際して、環境に配慮した施設整備を促進するとともに、建替えや大規模改修の際には、太陽光発電・太陽熱温水器等の設置を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		-	検討中		A		A			
713 低炭素化につながる行動・活動の普及促進																								
713	1	重複	031-2	「小金井環境行動指針」の活用	「小金井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手に取ってもらえる環境を整備できた。	A		A		A		
713	2		713-2	省エネチャレンジ事業	エネルギー消費の削減量に応じて商品券や商品との交換が可能なポイント制度を検討・実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		家庭部門から50件の申し込みがあり、50件中38件の報告書が提出された。	一般家庭及び事業所に日頃のエネルギー使用について考え、省エネ行動に取り組んでもらうきっかけを提供できた。	A		A		A		
713	3		713-3	環境マネジメントシステム導入事業所に対する優遇措置	環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21等）を導入している事業所の優遇措置を検討・拡大する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	C	次年度以降検討	-								
720 移動における低炭素化の推進																								
721 交通手段の転換の促進																								

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （一）…評価になじまない （二）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了						
XYZ	N		XYZ-N																					
体系No.	施策毎	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施	令和6年度実施状況	当該事業の数値実績（効果や課題）	令和7年度の実	令和7年度の実	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
721	1	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証も行う。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		・地域公共交通活性化協議会4回開催 ・交通ネットワーク再編事業部会2回開催	・地域公共交通計画を策定（R7～R14年度） ・路線バスとCoCoバスを合わせた交通ネットワーク再編事業に着手した	A	・計画の推進 ・交通ネットワーク再編事業に引き続き取り組む	A	A			
721	2	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たな自転車駐車場整備はなかった	民間から土地を借用して運営していることから、恒久的に使用できる土地の確保が必要。	A		B	恒久的に使用できる場所として、高架下などのスペースは限られているが、引き続き、整備できるよう要請していきたい。	B	市営自転車駐車場は、民間から土地を賃貸借し運営しているものが多く恒久的に利用していくことが難しい。恒久的に使用できる高架下などのへの整備を進めていきたい。	駅周辺で高架下を利用できる場所は限られてきていることから、今後、土地の購入等の対応も考えていく必要がある
722_自動車の低炭素化の促進																								
722	1		722-1	エコドライブの普及啓発	チラシ、パンフレット等によるエコドライブに関する普及啓発を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境政策課窓口にて配布した。		A		A		A		
722	2		722-2	次世代自動車の情報提供	次世代自動車の性能や効果、各種補助金制度等の情報提供をチラシ、パンフレット等により行う。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A	令和4年度から次世代自動車普及促進補助金の交付を開始した。	予算額3,800千円を計上し、多くの申請をいただき、全額を早期に使い切ることができた。	電気自動車20台、プラグインハイブリッド自動車18件の計38件の申請があった。	A		A		A		
722	3		722-3	次世代自動車を利用しやすい環境づくり	公共施設の建設・改修工事の際は、急速充電設備の設置等、次世代自動車の利用しやすい環境づくりを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		ホームページなどで情報発信はしているが、次世代自動車の利用しやすい環境づくりの検討までには至っていない。	環境づくりの検討までには至っていないが、令和4年度から補助金の交付を始め、市民の方々の関心は高まってきた。	A		A		A		
730_気候変動適応策の推進																								
731_気候変動適応に関する普及啓発																								
731	1		731-1	気候変動に関する情報発信	市のホームページや、広報紙、パンフレット等様々な媒体を通じて、気候変動による影響や適応の必要性、技術動向や国・都の政策、市民や事業者が実施可能な対策等に関する情報を発信する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		市HPや環境フォーラムなどで情報発信を努めた。	環境フォーラム内で実施した気候変動に関する意識調査では想定以上の回答数があり、気候変動に対する市民の関心が高まっていることが見て取れた。	A		A		A		
732_気候変動による影響の把握																								
732	1		732-1	気候変動による影響の把握	市域で起こっている気候変動による影響について把握に努める。水環境や自然生態系については、水質や水量、動植物の調査により変化の程度や内容を把握する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		地下水保全会議で情報提供を呼び掛けた。また、水質等の報告書について報告した。	今後も、地下水保全会議等で情報収集に努める。	A		A		A		
733_暑熱対策の推進																								
733	1	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A		A		A		
733	2		733-2	街なかでのクールスポット創出	まちなかや公共施設に、緑のカーテンやミストの設置などによるクールスポットの創出を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	-		検討中		A		A			
734_災害対策の推進																								

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の測定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					令和6年度実施状況			実績（効果や課題）	令和7年度の実施予定		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S…見込を超えた効果があった A…見込んだ効果があった B…見込んだ効果に至らなかった （－）…評価になじまない （－）…その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	（次年度以降の申し送り事項等が必要に応じて記載）
XYZ	N		XYZ-N			前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了								
体系No	施策毎	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度実施状況	令和6年度実施状況_当該事業の数値	実績（効果や課題）	令和7年度の実	令和7年度の実績	計画に対する評価	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考	
734	1	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	申請件数3件、設置浸透ます8個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A		A		A			
734	2		734-2	小金井市防災マップ等の作成公表	浸水予想区域図や土砂災害警戒区域の情報を掲載した「小金井市防災マップ」の作成・配布を行う。また、市ホームページで小金井市防災マップ、東京防災などの情報提供を行う。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	窓口やイベント等で配布を行うとともに、令和7年3月に全面改訂し、市内の全世帯・事業所への配布を行った。	防災マップは媒体の性質上、最新の情報を反映させることが困難であるので、市ホームページ・X等で補充していく必要がある。	A		A		A			
734	3	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	計262件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A		A		A			

小金井市の環境・みどりに関する 市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、令和3年3月に、「第3次小金井市環境基本計画」、「小金井しみどりの基本計画」及び「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、環境保全、みどりの保全・創出、気候危機対策に力を入れています。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、以下のアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

目的 市民の皆様が環境・みどりについて日頃感じられていることやご意見などをお聞きし、計画の評価・見直しの参考にさせていただくため、アンケート調査を行います。

対象 市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人の方

取扱 本調査票に記入された内容はすべて無記名データとして統計処理し、その他の目的での利用や個人の情報を公表することはありません。

令和7年6月 小金井市長 **白井 亨**



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和7年7月9日（水曜）までにご投函ください。

◎アンケート調査票・返信用封筒に氏名・住所をご記入いただく必要はありません。

スマートフォン・パソコンから、 インターネットでも回答できます！

環境保全や気候危機対策は、「一人ひとりから始めること」、「今すぐ行動すること」が大切になります。ぜひ、ご回答をお願いします。

アンケートを通じて、普段考えることが少ない小金井市の環境について考えてみましょう。



小金井市イメージキャラクター
こきんちゃん

1. スマートフォンからは、右記の二次元コードを
読み取ってアクセスできます。



2. パソコンからは、ブラウザURL 欄に下記の URL を入力してアクセスできます。

<https://rsch.jp/872759ed15beab2a/login.php>

3. 回答の際は、以下の「ID」を入力してください。

I D :

※ 「ID」は、二重回答防止に使用するもので、ID と個人を紐づけた管理はしていないため、個人が特定されることはありません。

※ インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。

◆ ご自身について

はじめに、あなたご自身についてお聞きします。該当する番号 1 つに○ をつけてください。

性 別	1. 男性 2. 女性 3. その他
年 齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上
住 所	【町名】 1. 東町 2. 梶野町 3. 関野町 4. 緑町 5. 中町 6. 前原町 7. 本町 8. 桜町 9. 貫井北町 10. 貫井南町 【丁目】 1. 1 丁目 2. 2 丁目 3. 3 丁目 4. 4 丁目 5. 5 丁目 6. 6 丁目 ※地域ごとに結果を整理するため、丁目までの記入にご協力ください。
小金井市 居住年数	1. 3 年未満 2. 3 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上 30 年未満 6. 30 年以上
住宅の形態	1. 戸建て 2. 集合住宅 3. 間借り等その他

1 身近な環境の満足度について

お住いの地域の環境に関して、該当する番号 1 つに○ をつけてください。

地 域 の 環 境	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
1. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供	5	4	3	2	1
2. 水のきれいさ（河川や湧水の水質、におい等）	5	4	3	2	1
3. 水辺との親しみやすさ（河川や湧水を身近に感じるか）	5	4	3	2	1
4. 生き物（野鳥、昆虫、水生生物等）との親しみやすさ	5	4	3	2	1
5. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見え方等）	5	4	3	2	1
6. まちの静けさ	5	4	3	2	1
7. 有害化学物質からの安全性	5	4	3	2	1
8. まちの美しさ（景観、調和等）	5	4	3	2	1
9. まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱、におい等）	5	4	3	2	1
10. 地球環境に配慮した取組み（CO ₂ 削減等）	5	4	3	2	1
11. 気候変動による豪雨等の災害からの安全性	5	4	3	2	1

クイズ★市の鳥、市の虫 知っていますか？

市内には、自然の中で生き物と親しめる公園や水辺が多くあります。
 市の木はケヤキ、市の花はサクラで、市章にもサクラの花びらがデザインされています。
 それでは、市の鳥と市の虫はなんでしょう？



市章

桜の花びらと小金井の「小」
を図案化しています

【ヒント】 市の鳥：水辺に生息する、色鮮やかな小型の鳥
 市の虫：「鳴く虫の女王」と呼ばれる、コオロギのなかまの虫

→ 答えはアンケート最終ページにあります！

2 日常生活における環境に関する取組状況

1) 普段の生活を振り返って、小金井市の環境に優しい行動がとれていますか。各項目について、該当する番号 1つに○ をつけてください。

行 動 内 容	いつも している	ときどき している	しない ことが多い	したこと がない
1. 庭やベランダなどで、木や草花を育て、除草剤の使用は控える	1	2	3	4
2. 地元の農産物を積極的に購入する	1	2	3	4
3. ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する	1	2	3	4
4. 生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける	1	2	3	4
5. 洗剤は極力石けんを使い、合成洗剤を必要以上に使わないよう努める	1	2	3	4
6. もの大切に使い、捨てる前にリユース、リサイクルを意識する	1	2	3	4
7. 生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する	1	2	3	4
8. ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する	1	2	3	4
9. 移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する	1	2	3	4
10. 打ち水やベランダで緑のカーテンを設置等、涼しくする工夫をする	1	2	3	4
11. 防災マップで避難場所を把握し、非常食などを備蓄する	1	2	3	4
12. 市HPや、市が発行する環境報告書などで環境情報を調べ、“小金井の今”を知る	1	2	3	4
13. リサイクル推進協力店や食品ロス削減推進協力店での購入を心掛ける	1	2	3	4
14. 家電など買替えの際は省エネ性能の高い製品を選ぶ	1	2	3	4
15. 自動車の買い替えの際は次世代自動車を検討する	1	2	3	4
16. プラごみ削減のためプラスチックのスプーンやストローは買わない・使わないようにする	1	2	3	4
17. 生ごみは堆肥化して有効に利用する	1	2	3	4

2) 環境配慮型の機器の利用・導入状況について、該当する番号 1 つに ○ をつけてください。

1 : 既に導入している 2 : 今後導入したい 3 : 導入は考えていない 4 : わからない

環境配慮型の機器	選択肢	環境配慮型の機器	選択肢
1. 電気自動車・プラグインハイブリッド車	1 2 3 4	7. 断熱窓	1 2 3 4
2. ハイブリッド車	1 2 3 4	8. 遮熱塗装	1 2 3 4
3. 住宅用燃料電池コージェネレーションシステム	1 2 3 4	9. 高効率給湯設備 (エコウィル、エコジョーズ、エコキュート等)	1 2 3 4
4. 住宅用太陽光発電システム	1 2 3 4	10. 雨水貯留施設 (雨水タンク)	1 2 3 4
5. 蓄電システム	1 2 3 4	11. 雨水浸透施設 (雨水浸透ます)	1 2 3 4
6. 太陽熱ソーラーシステム 太陽熱温水器	1 2 3 4	12. 生ごみ減量化処理機器	1 2 3 4

参考 Memo

ご存知ですか。小金井市では環境に配慮した機器等の補助制度を実施しています。

● 住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業

太陽光発電、蓄電システムなどを設置する方に予算の範囲内で設置費用の一部を補助しています。

対象機器等の概要		補助金額
燃料電池	ガスで発電を行い、同時にその排熱で給湯も行なう仕組みの機器	35,000 円
太陽光発電設備	太陽の光で発電する設備	1 キロワット当たり 30,000 円 (上限 100,000 円)
蓄電システム	電気を繰り返し充電して、家庭内の電気機器に電気を供給する仕組みの機器	40,000 円
太陽熱温水器	太陽の熱でお湯を沸かす機器	15,000 円
太陽熱ソーラーシステム	集熱器で集めた太陽熱を、不凍液等を循環させることで蓄熱槽内の水を温める機器	30,000 円
断熱窓	室内の熱の出入りを抑え、快適な室温を保つための窓	設置費用の 1/5 に相当する額 (1,000 円未満の端数は切り捨て。上限 100,000 円)
遮熱塗装	建物の屋根などに遮熱塗料を塗ることで、太陽光の熱を反射し、室内の温度上昇を抑える塗装	40,000 円

● 次世代自動車普及促進補助金

次世代自動車を購入した方に、予算の範囲内で購入費用の一部を補助しています。

対象機器の概要		補助金額
電気自動車(EV)	バッテリーの電気を使ってモーターを動かし、走行する車	100,000 円
プラグインハイブリッド自動車(PHV)	ガソリンエンジンと電気モーターの両方を搭載し、外部から充電できるハイブリッド車	100,000 円

※制度の詳細、申請状況を市ホームページで公表しています。ただし、申請期間内であっても、予算上限に達した時点で申請を締め切らせていただきますのでご注意ください。

3) その他、ご家庭で取り組まれている環境に関する取組などがあれば、お書きください。

例：エコラベル商品や国産木材製品の購入 等

3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号 1つに○ をつけてください。

環 境 保 全 活 動	参加したことがある	参加したことはないが今後機会があれば参加したい	参加したことはないし今後も参加したいとは思わない
1. まちの清掃・美化活動	1	2	3
2. ごみ減量活動 (リサイクルショップの利用、食品ロス削減等)	1	2	3
3. まちなかの緑化活動 (植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)	1	2	3
4. 地下水・湧水・河川の保全活動	1	2	3
5. 地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会	1	2	3
6. 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント	1	2	3
7. その他()	1	2	—

2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。

これらについて該当する番号 1つに○ をつけてください。

(計画・取組等の概要は次ページの表を参照してください。)

施策名、事業名、施設名等			選 択 肢				
計 画 ・ 施 策	1. 小金井市環境基本計画	1	知っているし、 読んだこと がある	2	知っているが、 読んだこと はない	3	知らない
	2. 小金井市みどりの基本計画	1		2		3	
	3. 小金井市地球温暖化対策地域推進計画	1		2		3	
	4. 小金井市気候非常事態宣言	1		2		3	
取 組	5. こがねい環境フォーラム	1	知っているし、 参加したこと がある	2	知っているが、 参加したこと はない	3	知らない
	6. 野川環境フィールドワーク (旧クリーン野川作戦)	1		2		3	
	7. 省エネチャレンジ	1		2		3	
	8. 環境賞 (小中学生による絵画コンテスト)	1		2		3	
	9. 環境講座 (子ども向けワークショップ・一般向け環境講座等)	1		2		3	
施 設	10. 環境楽習館 (環境啓発施設)	1	知っているし、 利用(見学) したことがある	2	知っているが、 利用(見学) したことはない	3	知らない
補 助 事 業	11. 次世代自動車普及促進補助金	1	知っているし、 利用したことが ある	2	知っているが、 利用したことは ない	3	知らない
	12. 住宅用新エネルギー機器等 普及促進補助金	1		2		3	
	13. 保全緑地制度 (環境保全緑地・保存樹木・保存生け垣)	1		2		3	
	14. 生け垣造成奨励金交付制度	1		2		3	

計画名・事業名等		概 要
1	小金井市環境基本計画	市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する計画
2	小金井市みどりの基本計画	市のみどりに関する目標及び取組を定める総合的な計画
3	小金井市地球温暖化対策地域推進計画	温室効果ガス排出削減等のための施策等を推進する計画
4	小金井市気候非常事態宣言	2050 年までにゼロカーボンシティを目指し、2022年 1 月に発出
5	こがねい環境フォーラム	市民団体等と協働して実施する環境啓発事業（令和7年度は 11 月 14 日（金曜）～16 日（日曜）に小金井 宮地楽器ホールで実施予定）
6	野川環境フィールドワーク	野川の清掃活動や生物多様性を学ぶワークショップを実施する環境啓発事業（令和7年度は 6 月 7 日（土曜）に実施）
7	省エネチャレンジ	電気使用量、ガス使用量の削減に取組む事業 削減率に応じて「さくらポイントカード」を付与
8	環境賞	「環境に関すること」をテーマとして絵画作品を募集 こがねい環境フォーラム等で作品を展示予定
9	環境講座	小学生向けの講座「地下水を学ぶ」や一般・事業者向けの「省エネ診断講座」等を実施 年度により実施内容は異なる。
10	環境楽習館	市唯一の環境啓発拠点施設 環境の日イベントや四季に合わせた歳時記イベント等、様々な啓発事業を実施
11	次世代自動車普及促進補助金	電気自動車等購入費用の一部を補助（予算上限あり）
12	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	蓄電池、太陽光発電設備、蓄電システム、断熱窓等の設置費用等の一部を補助（予算上限あり）
13	保全緑地制度	環境緑地：緑地に係る固定資産税等の税額の 80%を減免 保存樹木：1 本あたり 2,000 円の奨励金を交付 保存生け垣：1mあたり 300 円の奨励金（上限 15,000 円）を交付
14	生け垣造成奨励金交付制度	生け垣設置に要する経費の 1/2、1mあたり 10,500 円まで補助（1 戸あたりの限度額 210,000 円）（予算上限あり）

3) 前ページの 1)、2) で参加（利用）したことはないと回答した設問がある方に伺います。参加しなかった理由、参加したいと思わない主な理由は何ですか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 時間的余裕がないから 2. 興味が無いから 3. 知っていたら参加（利用）したかった
その他（ ）

4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報（例：環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等）を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 市報こがねい 2. 市内掲示板 3. 公共施設等での掲示
4. 市ホームページ 5. X・LINE 等の SNS 6. メールマガジン
7. 講座・シンポジウム・イベント等（環境以外も含む） 8. チラシ
9. スマートフォンアプリ（マチイロ等） 10. その他（ ）

5 今後、重視すべき取組について

小金井市の環境に関する取組を進めていく上で、今後、特に重要だと思う取組を、以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

--	--	--	--	--

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 地球温暖化の防止 | 2. 気候変動への適応※ |
| 3. 環境学習の推進 | 4. ごみの適正な処理と 3R※の推進 |
| 5. 小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全 | 6. 自然環境の保全・生物多様性の保全 |
| 7. まちのみどりの保全・創造（崖線と緑地の一体保全等） | 8. まちづくりにおける農の活用 |
| 9. 環境に関する市民団体等の活動の活性化 | 10. 環境・みどりに関する情報発信・共有 |
| 11. 市・市民・事業者の協働や広域的な連携の推進 | 12. 地下水・湧水・河川の現状把握及び保全 |
| 13. 人と自然とのふれあいの確保（遊歩道整備等） | 14. 騒音・振動対策 |
| 15. 飼い主のいない猫の対策（地域猫活動） | 16. 衛生害虫対策（ネズミ、スズメバチ等） |
| 17. 大気汚染、水質汚濁、土壌・地下水汚染対策 | 18. 外来種対策 |
| 19. 有害化学物質対策 | 20. その他（ ） |
- ※用語について、次ページの用語解説をご覧ください。

※用語について、次ページの用語解説をご覧ください。

6 小金井市の「みらい」の環境について

お住いの地域やその近くで、将来の小金井市に残したい環境や大切にしていきたい環境は何ですか。以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

--	--	--	--	--

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 玉川上水や野川、仙川などの水辺空間 | 2. きれいな河川や湧水 |
| 3. 国分寺崖線と一体となったまとまったみどり | 4. 散策路や公園などの憩いの空間 |
| 5. 名勝小金井（サクラ）など桜のある風景 | 6. 田畑のある風景や体験型市民農園などの体験場所 |
| 7. 野鳥、昆虫、水生生物などの豊かな生態系 | 8. まちなかに残る文化財や遺跡 |
| 9. 環境学習施設や環境学習の機会があること | 10. ボランティア活動や地域コミュニティの活発さ |
| 11. 地元の野菜や果樹等の地元消費 | 12. ごみが目につかない清潔なまちなみ |
| 13. 3Rの取組が推進されたまち | 14. 空気がきれいなまち |
| 15. 静かで落ち着いたまち | 16. 太陽光発電の導入など地球環境に優しいまち |
| 17. 環境に配慮した行動をとれる市民がいるまち | 18. その他（ ） |

参考 Memo

▶環境楽習館及び滄浪泉園緑地のVRツアーを
市ホームページで公開しています！

貫井南町三丁目に位置する環境楽習館、滄浪泉園緑地を体感できる VR ツアーを作成しています。施設、園内の様子が360°写真で見られるほか、滄浪泉園緑地の水琴窟など動画が流れる箇所が数か所あります。(水琴窟の動画では鳥のさえずりも聞こえます。)

施設を利用されたことがある方も、まだ利用されたことがない方も是非、一度VRの世界で体感してみてください！



小金井市ホームページ「環境楽習館及び滄浪泉園緑地のVRツアー」

https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokatudou/kankyougakusyuukan/vr_tours.html



環境楽習館



滄浪泉園綠地

7 環境保全に関する用語の認知度について

最近よく使用されている環境保全に関する用語について、該当する番号 1 つに○ をつけてください。

用 語	意味を含めて知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉自体を知らなかった
1. カーボンニュートラル	1	2	3
2. 気候変動への「適応」	1	2	3
3. 1.5℃目標	1	2	3
4. フードドライブ	1	2	3
5. バイオプラスチック	1	2	3
6. 3R+Renewable (スリーアールプラスリニューアブル)	1	2	3
7. 生物多様性	1	2	3
8. ネイチャーポジティブ	1	2	3
9. 30by30 (サーティバイサーティ)	1	2	3

参考 Memo

用語解説

カーボンニュートラル: 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、全体として排出量をゼロにすること

気候変動への「適応」: 猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など、様々な気候変動の影響に備えること

1.5℃目標: 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 1.5℃に抑える努力を追求すること

フードドライブ: 家庭で余っている食品を回収拠点(スーパーや自治体など)やイベントに持ち寄り、地域の福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動のこと

バイオプラスチック: 植物などの再生可能な有機資源を原料とするバイオマスプラスチックと微生物等の働きで最終的に二酸化炭素と水にまで分解する生分解性プラスチックの総称

3R+Renewable: 3R(スリーアール)とは「Reduce」発生抑制、「Reuse」再使用、「Recycle」再資源化の頭文字を取った3つの行動のこと、Renewable(リニューアブル)とは「再生可能な」という意味で、行動としては、再生不可能な資源から再生可能な資源に替えること

生物多様性: 生きものたちの豊かな個性とつながりのこと

ネイチャーポジティブ: 自然が豊かになっていくプラスの状態、「自然再興」

30by30: 2030 年までに陸と海のそれぞれ 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

8 小金井市のみどりについて

【みどりの満足度】 本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策 等	満足	満足や やや	どちらとも 言えない	やや 不満	不満
1. みどりに関する市からの情報提供	5	4	3	2	1
2. 農地の親しみやすさ（市民農園等）	5	4	3	2	1
3. みどりの豊かさ（樹林地、街路樹、公園等）	5	4	3	2	1
4. 公園の居心地のよさ	5	4	3	2	1
5. ボランティア活動の参加のしやすさ	5	4	3	2	1
6. イベント（滄浪泉園・公園花壇植え替え等）の参加のしやすさ	5	4	3	2	1
7. みどりの質 ★詳しくはページ下部参考情報をご覧ください	5	4	3	2	1

参考 Memo

私たちが目指すみどり

みどりの将来像 「みんなで育み、つなげるみどりの小金井」

小金井市にふさわしいみどりは、安全で快適な場所として、保全、活用され、多世代が触れ合い、地域で暮らす楽しみを見つめることができる空間です。



質の高いみどり

① 地域特性に応じた多様なみどり

市内の地域の様々な場所に応じた、樹林地、農地、公園、川や水辺などの多様なみどりが重層的にあります。

② 多様な機能を有するみどり

都市環境の改善、防災機能の向上、生物多様性の保全、景観形成など、以下のような多岐にわたる機能があります。

- ☞ 災害時の被害軽減 ☞ 健康活動の場 ☞ 子どもの遊び場 ☞ 地域の魅力向上 ☞ コミュニティの活性化
- ☞ 温室効果ガスの吸収 ☞ ヒートアイランド現象の緩和 ☞ 生物多様性の確保 ☞ 環境教育・自然とのふれあいの場

③ 生活に季節感や潤いをもたらすみどり

春の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の裸木など、四季折々の変化に富んだ生活に季節感や潤いをもたらす、小金井市らしい美しく風格のあるみどりがあります。

④ 生態系やまちの景観への配慮が保たれているみどり

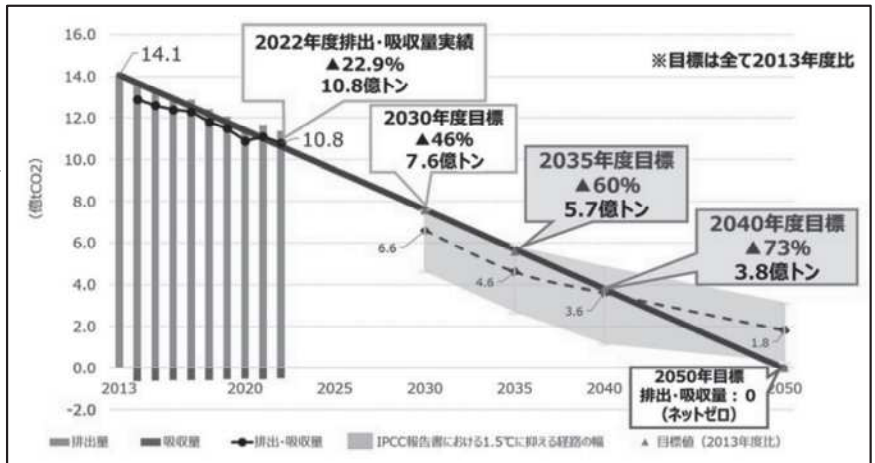
生態系やまちの景観に配慮し、市、事業者、市民がみんなで適切に保全、整備、管理、活用しています。



9 気候変動対策について

- 1) 日本は、2030 年度において、温室効果ガス排出 46%削減 (2013 年度比) を目指し、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目標としています。あなたはこのことを知っていましたか。該当する番号 1 つに ○ をつけてください。

出典：地球温暖化対策推進本部



1. 知っていた

2. 知らなかった

参考 Memo

気候変動に対しての小金井市の取組 ～2050 年 CO₂排出実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化による異常気象が頻発し、猛暑や記録的な集中豪雨など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると私たちの市民生活に多大な影響がでると予想されます。

市では、この「気候危機」を自らの問題として認識し、気候危機への対策を加速化させるため、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組み、2050年までにCO₂排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、令和4年(2022年)1月に「小金井市気候非常事態宣言」を発出しています。

ゼロカーボンシティ実現のため、環境啓発事業である「こがねい環境フォーラム」、「野川環境フィールドワーク」の実施や住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業や次世代自動車普及促進補助事業など、様々な取組を展開しています。

- 2) 小金井市の現在の温室効果ガス排出削減目標は、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の目標は国と同じであるものの、中期目標である 2030 年度においては温室効果ガス排出 26%削減 (2013 年度比) を目指すとしています。(国の目標は 46%削減) あなたは 2030 年度における小金井市の目標数値について、どのように考えますか。該当する番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 国と同じ程度の目標を掲げるべき

2. 国以上の目標を掲げるべき

3. 現状の目標値でよい

- 3) 2) の回答の理由があれば、お書きください。

4) 気候変動の影響に備える「適応」(※8ページ用語解説参照)について、現在あなたが行っている取組にはどのようなものがありますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 熱中症対策の徹底(こまめな水分補給、クールビズ・ウォームビズの実践等)
2. 感染症対策の徹底(虫よけスプレーの利用等)
3. 防災情報の確認(防災マップの確認、こがねい安全・安心メールの活用等)
4. 自然災害等への備え(水や非常食、防災グッズの備え等)
5. 気温上昇等への対策(緑のカーテン、打ち水等)
6. その他()

5) 気候変動の影響に備える「適応」について、市が重点的に対策すべきものは何ですか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 熱中症対策に関する情報提供の強化
2. 防災に関する情報提供の強化
3. 自然災害に備えた備蓄(水・非常食)の強化
4. 気温上昇等への対策(みどりの保全や緑化促進によるヒートアイランド現象の軽減等)
5. 気候変動による生物への影響についての情報収集
6. その他()

参考 Memo

気候変動対策「緩和」と「適応」

気候変動対策は「緩和と適応」の2本柱からなり、どちらも重要であるとされています。

温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の原因をできるだけ抑えることを「緩和」と言います。暮らしの中では、節電・省エネや、エネルギーの効率のよい機器を使うことで、エネルギーの使用を減らすことや、なるべく車ではなく自転車や徒歩で移動することなどです。

気候変動の影響に備えることを「適応」と言います。適応策をしっかりと取ることができれば、気候変動がある程度進んでも、その影響や被害を抑えることができます。



個人でできる適応としては、熱中症やデング熱の予防といった健康分野での適応策、豪雨災害に備えたハザードマップの確認といった自然災害分野での適応策などがあります。



出典:気候変動適応情報プラットフォーム

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>

6) 東京都では、「燃費の良い住宅」の普及を進めています。あなたは、断熱性が高く、太陽光発電設備や蓄電池等の機器を設置した「燃費の良い住宅」のメリットを知っていますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 夏は涼しく、冬は暖かく、光熱費削減 | 2. 結露がなく掃除が楽になる |
| 3. ヒートショックの抑制 | 4. アレルギーの減少 |
| 5. 停電時にも電気の使用が可能 | 6. 知らなかった |

参考 Memo

知って役立つ！おうちの燃費と快適性

東京都地球温暖化防止活動推進センター「クール・ネット東京」では、都民や事業者の皆さまの地球温暖化防止の取組や省エネ対策を支援するため、ホームページ等でさまざまな情報を提供しています。

東京都の実施する省エネ対策事業、補助金・助成金や、研修会・セミナー・イベントなどの情報や、地球温暖化対策についてわかりやすく学ぶことができます。

「知って役立つ！おうちの燃費と快適性」として、ハローキティのおうち、公式動画なども公表されていますので、燃費の良い住宅についてさらに知りたい方は、「クール・ネット東京」ホームページもご活用ください。



出典:東京都地球温暖化防止活動推進センター「クール・ネット東京」

<https://www.tokyo-co2down.jp/eco-home/>

10 市の環境施策について

小金井市の環境施策について、あなたのご意見を聞かせてください。



カワセミ



カンタン

クイズの答え
市の鳥:カワセミ
市の虫:カンタン



以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか再度お確かめの上、この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、**7月9日(水曜)**までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

お問合せ先：小金井市 環境部 環境政策課 環境係
TEL：042-387-9817（直通） FAX：042-383-6577
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時（正午～午後1時を除く）

小金井市環境基本計画中間評価等及び（仮称）小金井市気候市民会議運営スケジュール表

業務実施内容		令和7（2025）年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境基本計画及びみどりの基本計画における市民意識調査等													
基礎調査	市民アンケート調査		調査票作成	● 発送		集計・分析				報告書作成	● 完成		
審議会	環境審議会		●		●	●		●	●			●	
第2次地球温暖化対策地域推進計画（中間見直し）（概要版）の作成													
中間見直し 方針の検討	ア ロードマップの作成						目標値・指標の検討 将来推計		ロードマップ 原案作成				
	イ 施策の検討						分類 新規施策の検討						
	ウ 地域推進計画（中間見直し） （概要版）作成								概要版 原案作成		パブリックコメントや会議を踏まえ修正、印刷	● 完成	
	エ パブリックコメント									パブリック コメント	回答案作成 とりまとめ		
（仮称）気候市民会議運営													
会議等の 運営支援	実施日程（案）				● 6 日	● 2 土	● 6 土						
	ア 企画・運営				各回のプログラム・資料作成 講師等の手配								
	イ アンケート作成及びデータ集計				各回のアンケート作成 収集・集計								
	ウ 会議録・映像記録の作成												
	エ 意見提案のとりまとめ												
	オ 報告書の作成								報告書作成、印刷	● 完成			

小金井市環境基本計画中間評価について

1 概要

(1) 計画との位置づけ

小金井市環境基本計画は、令和3年4月1日から令和13年3月31日までの計画期間とする計画であり、概ね5年間を区切りに、計画の評価と検証を行うとともに、社会情勢や関連する各種制度の変更など計画を取り巻く環境の変化に伴う市民意識調査及び中間見直し等を行うことを目的とする。

(2) 評価項目について

ア 市民アンケート調査

【目的】

現行基本計画や施策の認知度や環境保全行動の実践度についての実態把握

【対象】

無作為抽出、18歳以上の市民3,000人（外国人80名程度含む）

【内容】

資料3のとおり

イ その他

第3次環境基本計画策定に向けて実施した市民アンケート調査（令和元年9月実施）の調査項目をベースとして作成

第3次環境基本計画において5年に1回を目途に把握するとしている「みどりの豊かさ」、「生物多様性の認知度」等の調査のほか、新規設問等を設け、計画の見直しの参考とする。

2 主なスケジュール

	内容	日程
(1)	各審議会での内容審議	5月22日（木）（緑地保全対策審議会） 5月23日（金）（環境審議会）
(2)	追加意見等提出（各審議会委員）	5月27日（火）
(3)	アンケート内容確定	6月上旬
(4)	アンケート発送	6月中旬（回答期日2週間程度）
(5)	集計・分析	8月下旬以降

令和7年5月23日

（仮称）小金井市気候市民会議の企画概要

○（仮称）小金井市気候市民会議の目的

「小金井市気候非常事態宣言」では、2050年までのゼロカーボンシティの実現を目指している。その目標達成に向けて、市民が自分ごととして取り組むことができる地球温暖化対策に係る行動を検討し、実行するための行動計画等を提言としてとりまとめることなどを目的に（仮称）気候市民会議を実施。

○参加人数

市民 20～30 人程度を想定

○実施概要

会議形式を 3 回、フィールドワークを 2 箇所実施

➤ 第 1 回気候市民会議

テーマ：気候変動について理解を深めよう

アウトプット：各分野について市民・事業者・行政の課題

グループ分け：3 分野×2 グループ

- ① 再エネ、省エネ
- ② まちづくり、ごみ、交通
- ③ 環境教育、参加協働

➤ フィールドワーク

訪問先（案）

- 1. メタウォーターサステナブルパークこがねい
- 2. 環境楽習館・滄浪泉園

➤ 第 2 回気候市民会議

テーマ：暮らしの脱炭素について考えよう

アウトプット：課題解決に向けた取組（提言案）

グループ分け：第 1 回の結果をとりまとめ、5～6 の分野に分ける

※他グループへの意見がある場合は、別途紙面で収集

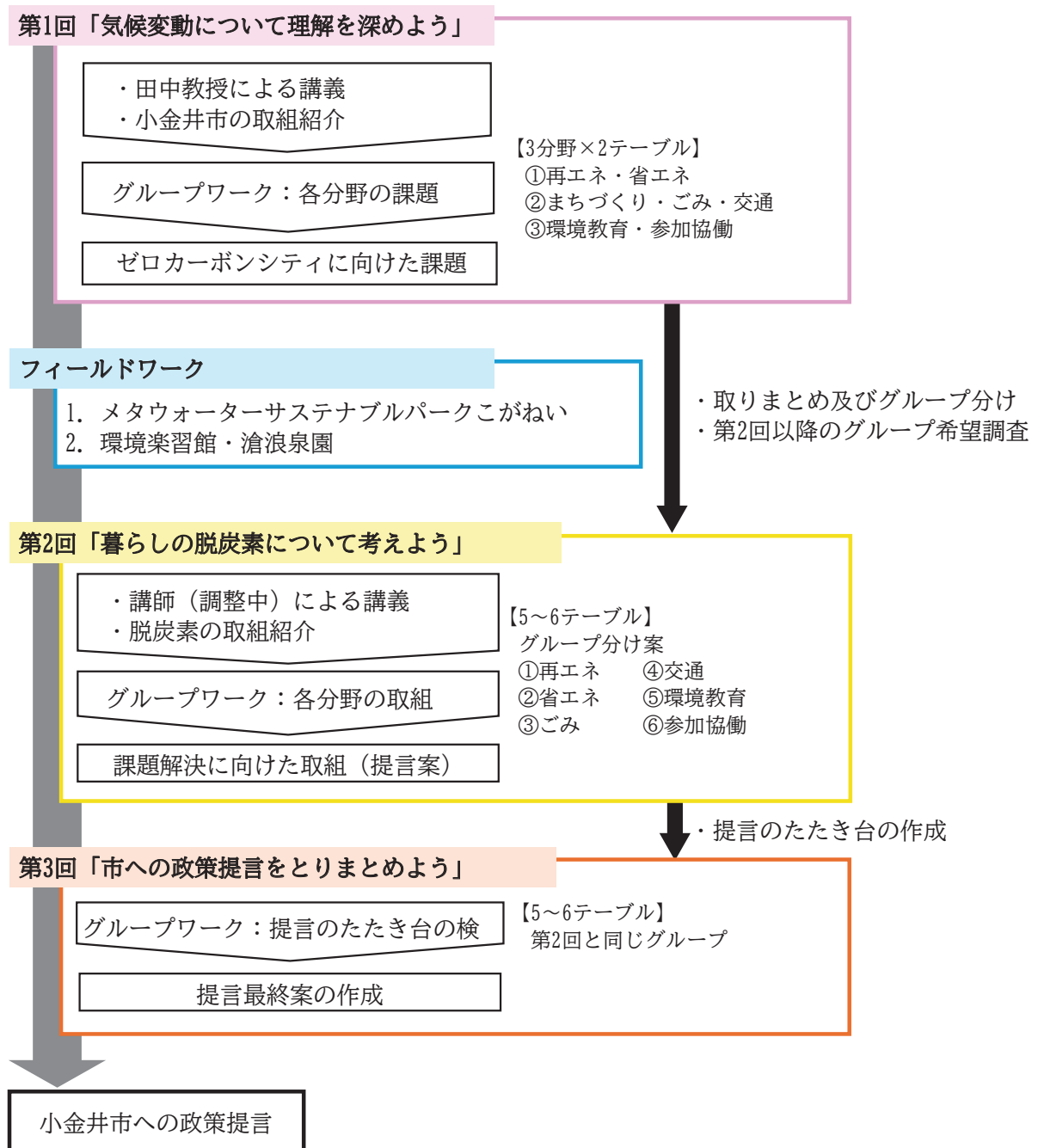
➤ 第 3 回気候市民会議

テーマ：小金井市への政策提言をとりまとめよう

アウトプット：提言最終案の作成

グループ分け：第 2 回のグループと同様

○全体のフロー図



以上

第1回（仮称）小金井市気候市民会議 企画案

1. 第1回気候市民会議の目的

テーマ：気候変動について理解を深めよう

気候変動の問題や小金井市の現状について情報提供を行い、気候変動について理解を深めていただきます。

市民の皆さんから小金井市の課題について意見交換をしていただきます。

2. 開催日時・スケジュール案

令和7年7月6日（日）午後開催予定

1. 白井市長による開会宣言【5分】

2. 講師による講義【30分】

講師：法政大学名誉教授 田中 充 氏

講義：気候変動問題の現状等

3. 情報提供【20分】

情報提供：小金井市の現状、小金井市気候非常事態宣言等

4. 自己紹介、グループワーク【15分×4】

トークテーマ：小金井市の課題

5. 全体の意見総括【5分×6】

6. フィールドワーク及び、第2回気候市民会議の説明【15分】

3. 人数構成

・参加者：市民20～30名程度（1テーブル5～6名程度で配置予定）

・講師：1名

・委託事業者：5～8名（司会：1名、ファシリテーター：4～6名、撮影者：1名）

・市職員：3～4名

4. グループワーク

・3分野の課題について、ワールドカフェ方式で意見交換を実施

・各分野について2グループ、計6グループ

※ワールドカフェ方式とは、グループのメンバーを入れ替えることで、多くの参加者と意見交換をすること。

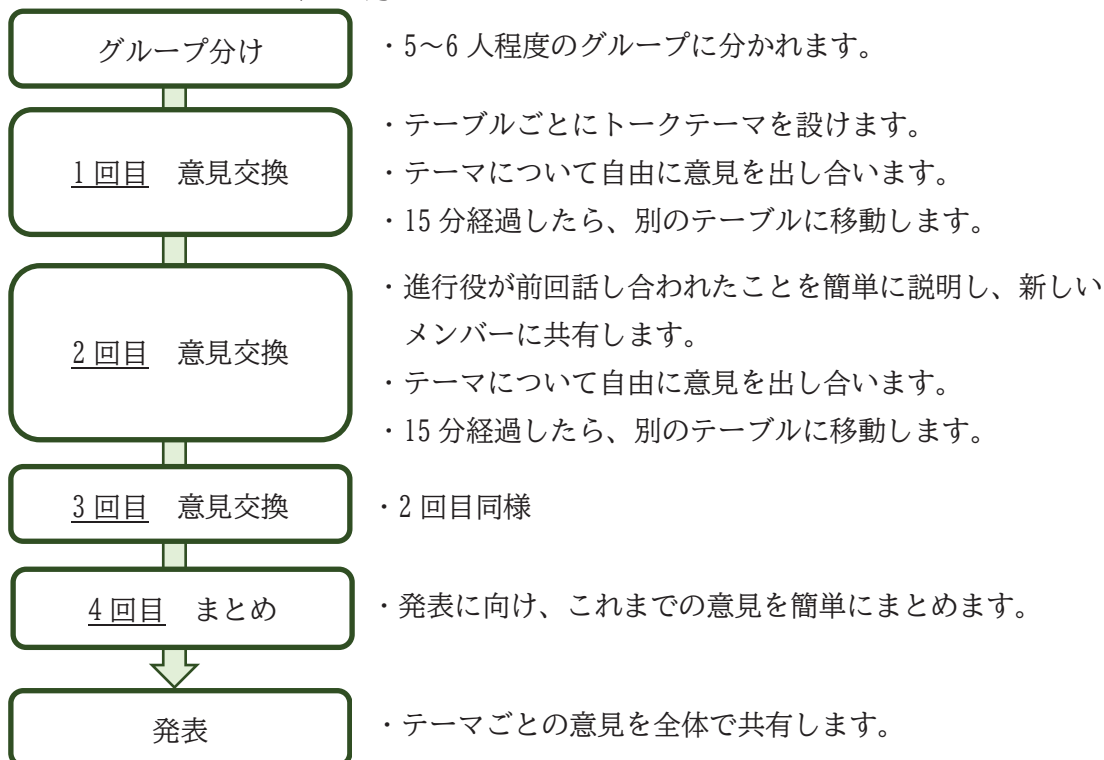
① 再エネ、省エネ

② まちづくり、ごみ、交通

③ 環境教育、参加協働（各分野2グループずつ）



5. グループワークの進め方



●付箋の使い方



6. フィールドワークの案内

第 1 回の内容を踏まえて、地球温暖化対策に係る身近な市の施策等へ触れていただく機会として、参加希望者で施設見学を実施します。

参加希望者についてはアンケート（紙面及び、二次元コード）の実施を予定しています。

➤ フィールドワーク先

1. メタウォーターサステナブルパークこがねい
2. 環境楽習館・滄浪泉園

7. 市民会議終了後

- ・ 第 1 回気候市民会議の取りまとめの作成
- ・ フィールドワークの参加希望調査
- ・ 第 2 回以降のグループの希望調査

以上

第2回（仮称）小金井市気候市民会議 企画案

1. 第2回気候市民会議の目的

テーマ：くらしの脱炭素について考えよう

第1回とフィールドワークの結果を踏まえて、市民の皆さんから課題解決に向けた取組について意見交換をしていただき、提言案の抽出・整理をしていただきます。

2. 開催日時・スケジュール案

令和7年8月2日（土）午後開催予定

1. 課題のまとめ、フィールドワークの振り返り【15分】
2. 講師による講義【30分】
講師：（調整中）
講義：家庭部門の脱炭素
3. 自己紹介、グループワーク【60分】
トークテーマ：課題解決に向けた取組
4. 全体の意見総括【5分×6】
5. 第3回気候市民会議の説明【10分】

3. 人数構成

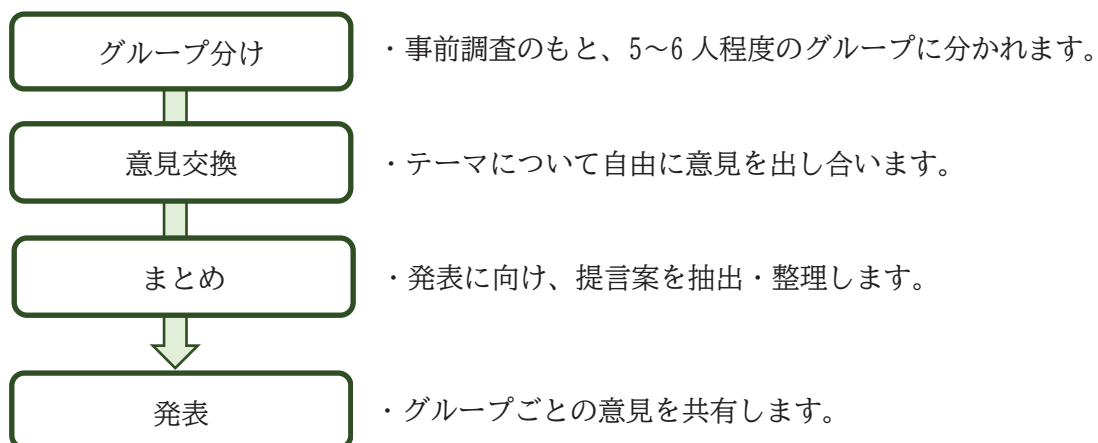
- ・参加者：市民20～30名程度（1テーブル5～6名程度で配置予定）
- ・講師：1名
- ・委託事業者：5～8名（司会：1名、ファシリテーター：4～6名、撮影者：1名）
- ・市職員：3～4名

4. グループワーク

- ・第1回の結果とフィールドワークを踏まえて、5～6分野にグループ分け
- ・グループ分け案
 - ① 再エネ
 - ② 省エネ
 - ③ ごみ
 - ④ 交通
 - ⑤ 環境教育
 - ⑥ 参加協働

※他グループへの意見がある場合は、紙面に記入し提出

5. グループワークの進め方



●付箋の使い方



6. 市民会議終了後

- ・ 第2回気候市民会議の取りまとめの作成
- ・ 第2回までの内容を踏まえた提言のたたき台の作成

第3回（仮称）小金井市気候市民会議 企画案

1. 第3回気候市民会議の目的

テーマ：市への政策提言をとりまとめよう

第2回までの結果を踏まえた提言のたたき台を提示し、市民の皆さんには提言のたたき台をもとに議論・検討し、各分野の提言最終案を作成していただきます。

2. 開催日時・スケジュール案

令和7年9月6日（土）午後開催予定

1. 第2回の振り返り【10分】
2. 情報提供（提言のたたき台の提示）【30分】
情報提供：第2回までを踏まえた提言のたたき台の提示
3. ブラッシュアップ【45分】
トークテーマ：各分野の提言最終案の作成
4. 全体で共有【7分×6】

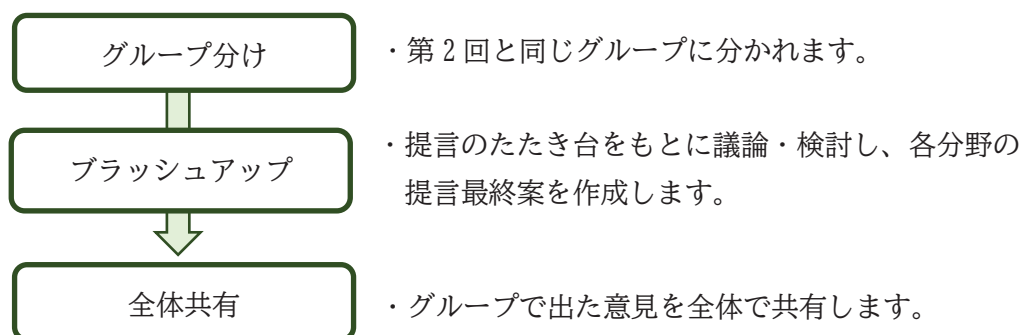
3. 人数構成

- ・参加者：市民20～30名程度（1テーブル5～6名程度で配置予定）
- ・委託事業者：5～8名（司会：1名、ファシリテーター：4～6名、撮影者：1名）
- ・市職員：3～4名

4. グループワーク

- ・第2回と同じグループ
- ※他グループへの意見がある場合は、発表の後、発言

5. グループワークの進め方



6. 市民会議終了後

- ・第3回気候市民会議の取りまとめの作成
- ・市への提言最終案のまとめ
- ・最終案の提言を参加者に共有し、確認していただいたものを最終版とする